

玉翠会報

(第 46 号)

発行所 高松番町二二
高松高等学校内
香川県立高松高等学校玉翠会

発行 間 島 賢 治
責任者 間 島 賢 治
印刷所 石田印刷(有)



ご挨拶

玉翠会会長 間島賢治

「玉翠会報」発刊にあたり、会員の皆様におかれましては日頃より当会の運営に関して多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年八月の高松高校創立一三〇周年記念祝賀会に際して、香川県内はもとより全国各地から多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。祝賀会は一〇年毎の開催ですが、従来は一〇年毎に五〇〇名単位で参加者が減っていました。今回は、皆様のご協力で前回一二〇周年とはほぼ同等の約一、〇〇〇名のご参加をいただき盛大に開かれました。祝賀会会場近隣のサンポート高松地区は、最大収容人員一万人規模の新県立アリーナがオープンし、今後更なる開発計画もあり地方創生の観点から期待されています。近くにお越しの際には是非ご覧ください。

創立一三〇周年記念行事は、実行委員会の皆様、高松高校ご担当教員の皆様の多大なるご尽力のお陰で実施できました。改めて、皆様にご心よりお礼を申し上げます。私も毎年、東京、東海、関西、岡山、徳島など各地玉翠会総会に出席させていただき皆様との懇談が大変楽しみにしております。

さて、高松高校の現役生徒も文武両道の精神で部活動にも邁進しておりますが、昨今の働き

方改革は先生方にも関係しており、部活動のあり方も見直されているようです。各部の先輩あるいは地域が支えるようになるようですが、変革の波は教育界にも及んでいます。各部先輩の皆様も、後輩のために物心両面で支えていただければ幸いです。

ところで、現在、四国遍路を世界文化遺産に登録するために、四国遍路世界遺産登録推進協議会にて四国四県が一体となって活動をしています。世界文化遺産登録を目指す暫定一覧表に記載されている候補が残り少なくなっており、来年の三月頃までに暫定一覧表に記載すべき新たな国内候補が選ばれる予定です。今回の機会を逃すと、世界文化遺産登録は更に先になってしまいます。四国四県が一体となって活動をしているのは、四国遍路世界文化遺産登録や四国新幹線の実現です。私は現在、同会の普及啓発部会長を仰せつかっていますが、ご賛同いただけるようであれば協力いただければ幸いです。

玉翠会では毎年、皆様からお振込みいただく年会費の中から二〇〇万円程度を教育基金に繰り入れをし、現役生徒にほぼ同額の奨学金を助成させていただいています。このことを知った複数の先輩から、高松高校創立一三〇周年を契機として、奨学金にと匿名で多額のご寄付を

いただきました。微力ではございますが今後とも努力して参りたいと存じますので、これから皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。



ご挨拶

高松高等学校長 中筋功雄

盛夏の候、玉翠会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育諸活動にご理解とご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の高等学校現場のビッグニュースは、何といっても全国高等学校総合文化祭が香川県で開催されることでしょう。吹奏楽や書道、演劇や新聞といったおなじみの文化部一九部門と、開催県が独自に部門を設定できる協賛部門の四部門を合わせた二三部門に、参加する高校生がのべ約二万人、関係者も含めればのべ一〇万人の方がこの香川に集うという、文化部活動最大のイベントです。七月二六日にあなづきアリーナ香川で行われる総合開会式を皮切りに、三二日までの六日間、県内各地の会場において、全国の高校生がこれまで培ってきた文化活動の成果を発揮するとともに高校生同士の交流を深めます。

本校の生徒も多くの部門に参加しますが、加えて生徒実行委員会に所属して大会全体の運営に一年以上携わってきた生徒もいます。また、各部門の当日スタッフとしてそれぞれの会場で活動する生徒も相当数います。

特に、小倉百人一首かるた部門は、部活動として活動している学校が県内では本校のみです。本校の教員や生徒が中心となって競技を運営します。会場となる高松市総合体育館の第一競技場に畳四〇〇枚を敷き詰め、最大一〇〇

ます。

最後になりましたが、会員皆様の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

組を超えるかるたの対戦が一人の読手の歌詠みに合わせて札を取り合う競技は、実に壮観で迫力に満ちたものです。知力や戦略の上に一瞬を争う競技ですので、前の句の下句を詠む間の張りつめた静寂から、次の句を詠み始めた瞬間に一気にズバンと札が舞い散るまさに「静と動」が競技かるたの魅力です。その分、審判や運営には細心の注意が求められ、なかなか素人では務まらないものです。本校の競技かるた部は現在六〇名を超える部員を有し、もちろんこの大会で優秀な成績を収めるために日々練習に励んでいます。競技運営のスタッフとしても重要な役を担います。さらには一般生徒や運動部の生徒からもボランティアを募り、かるたの競技だけでなく、初日に行われる生徒交流会や競技と並行して行われる読手コンクールも含めて大会を大いに盛り上げる予定です。

かるたの部門に限らず、高校生の作品や演奏などをじかにお楽しみいただいたり、運営スタッフとして奔走する高校生の姿を応援していただいたりする貴重な機会を、ぜひ皆様にも堪能いただきたく存じます。そのなかには、工夫やおもてなしの精神を発揮して輝く高松生の姿もきっとあるはずですよ。

結びになりますが、玉翠会の益々のご盛会並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、あわせて本校への変わらぬご厚情を賜りますようお願いを申し上げます。



一三〇周年記念式典には遠方から多数のご参加ありがとうございました。また陰日向にわたり、いろいろなご協力を頂きました。本当にお世話になりました。一二〇周年の時は「現場監督」として、今回は「何もしない最終責任者」として携わらせて頂きましたが、これからの世代の皆さんの血と汗と涙とで、とても素敵な催しになったと思います。おかげさまで一四〇周年、一五〇周年と後ろに繋いで頂ける流れが出来たことが何よりの賜であります。

変わっていく時代の中で、香川、日本全国、全世界でご活躍の高卒業生の皆さんが一〇年に一度でも母校高松高等学校を中心に「地元」を「ふるさと」を振り返って頂ければ、それで周年事業は大成功だと思えます。これからも「ご縁」のある皆さんのお力で、この「地」をより良いものにして頂ければと思います。重ねまして、今回は本当にありがとうございました。

創立一三〇周年記念事業実行委員長
佐藤 哲也(昭和五四年卒)

創立一三〇周年記念事業報告

TAKAKO
130th



東京玉翠会 渡辺会長



間島会長



式 次 第

- 開 会 ～
能 楽 舞「八 島」「鶴 亀」 能楽師 伶以野陽子
高松高校 OB 有志
- 玉翠会会長挨拶 香川県立高松高等学校玉翠会 会長 間島 賢治
- 高松高校校長挨拶 香川県立高松高等学校 校長 中筋 功雄
- ご 来 賓 挨 拶 香川県知事 池田 豊人
- 乾 杯 東京玉翠会 会長 渡辺 修
- 香川県立高松高等学校創立 130 周年記念事業のご紹介 ～
創立 130 周年記念第九合唱 高松高校 OB 有志
- 応 援 団 演 舞 高松高校
応援団・吹奏楽部 OB
- 校 歌 斉 唱
- 中 締 め
香川県立高松高校創立 130 周年記念事業実行委員会
実行委員長 佐藤 哲也



事業報告

- ① 香川県立高松高等学校
創立130周年記念誌
令和 5 年10月31日(火) 発行
- ② 創立130周年記念祝賀会
日 時 令和 6 年 8 月10日(土) 16時～
J R ホテルクレメント高松 3 階
最終参加お申込人数 1,029名



去る二〇二四年八月一日(土)、JRホテルクレメント高松 飛天・玉藻の間にて「香川県立高松高等学校創立一三〇周年記念祝賀会」を開催いたしました。

当日は、香川県知事 池田豊人様(昭和五五年卒)をはじめとするご来賓の皆様、そして様々な年代の卒業生の皆様にご参加を頂き、参加者数一、〇〇〇名を超える賑いとなりました。

祝賀会は、鴨居真理子様(昭和六一年卒)の司会のもと、能楽師 伶以野陽子様(平成元年卒)による能楽「八島」で幕を明けました。中盤では、垣見知英様・大西葉子様(昭和五〇年卒)をはじめとするご有志

の皆様が、華やかな第九合唱で三六年の歴史のある「高高一トフルコンサート」をご紹介頂きました。そして終盤は、恒例の高松高校応援団OBによる演舞で、大いに盛り上がりしました。

また、会場内には旧校舎・新校舎を背景に制服姿で記念撮影ができる顔出しパネルや、高松高校に感謝の気持ちを綴るメッセージボードも設置され、笑顔で当時は懐かしむ皆様の様子がとても印象的でした。

開催にあたり、各所でPRにご協力頂いた皆様、ご友人にお声がけ頂いた皆様、そして何より当日ご参加頂きました多くの皆様のおかげをもちまして、無事盛会のうちに終了することができました。

誠にありがとうございました。
祝賀会実行委員長 荒木 隆
(昭和六二年卒)



創立一三〇周年記念誌「あとがき」より

創立一三〇周年記念誌が発行の運びとなりました。

特集の「玉翠会今昔物語集」は、在校生にも、今以上に同窓会の活動を知ってもらうことをテーマの一つにしました。座談会のお声がけをさせていただいたところ、お忙しい中、またコロナ禍でさまざまな制約がある中、全国の玉翠会員の皆様には編集委員のわがままに快く応えてくださり、ご協力に本当に感謝しております。

実際に高高に来ていただくことに加え、コロナ禍で広がったオンラインを活用しても座談会を開きました。卒業生同士、思い出話にたくさんの方が咲き、また、皆様の母校愛を改めて感じることができました。ページの都合で掲載しきれなかった先輩方の武勇伝に、目をきらきらさせて聞き入っていた在校生からは、「お話を伺うととても楽しそうなので、是非とも玉翠会に入らせてください。どうすればよいで

しょうか?」という質問がありました。まさに、高松スピリッツの継承の瞬間を、目の当たりにした思いでした。

校舎は昔とは随分変わりました。ですが、卒業生あってこそ、今の高松高校だと心から思います。校舎の中や在校生、教職員の中に、歴史や校風は確かに息づいています。この記念誌からそれを感じ取っていただき、かけがえのない高校生活の思い出のよすがになりましたら幸いです。

記事の正確さには注意を払うよう心がけましたが、至らぬ点もあるかと存じます。誤りや不備な点がありましたらどうぞご容赦ください。

最後になりましたが、本記念誌発行に多大なるご支援、ご協力を賜りました皆様に深く感謝申し上げますとともに、皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

記念誌編集委員長 迫田真由美

玉翠会今昔物語集

今昔、懐かしい思い出を語り継ぎ、未来につなげる。玉翠会員の皆様から寄せられた思い出の物語を、この冊子に収めました。



こんな仕掛けも...

放送委員会の方々に協力していただき
校内を撮影しました。

令和7年度 玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	10	木	会計監査	5階会議室
4	22	火	玉翠会 会長・副会長会	1階会議室
5	17	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	24	土	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
			玉翠会 理事会・代議員会	5階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	みくりや倶楽部
6	7	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル「鳳凰の間+マグリリアホール」
6	21	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
7	7	月	玉翠会報 第46号発行	
9	6・7	土・日	文化祭（玉翠庵お休み処：H8卒主管）	高松高校
10	11	土	関西玉翠会総会	アートホテル大阪ベイトワ
11			玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会	体育館
11	16	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2			玉翠会 会長・副会長会	1階会議室
3	6	金	卒業式	体育館

令和6年度 玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	4	木	会計監査	5階会議室
4	10	水	玉翠会 会長・副会長会	1階会議室
4	20	土	玉翠会 理事会・代議員会	5階玉翠ホール
			玉翠会 懇親会	リーガホテルゼスト高松
5	18	土	東海玉翠会総会	名鉄グランドホテル
5	20	月	玉翠会報 第45号発行	
5	27	月	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
6	8	土	東京玉翠会総会	東京プリンスホテル「鳳凰の間」
6	22	土	徳島玉翠会総会	ザ・グランドパレス徳島
8	10	土	創立130周年記念祝賀会	JR ホテルクレメント高松
9	7・8	土・日	文化祭（玉翠庵お休み処：H7卒主管）	高松高校
10	26	土	関西玉翠会総会	アートホテル大阪ベイトワ
11	1	金	玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 S49卒 岡 正晶氏（最高裁判所判事）	体育館
11	17	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	10	月	玉翠会 会長・副会長会	1階会議室
3	6	木	卒業式	体育館

創立130周年記念事業準備委員会（祝賀会）6/26・9/25 他

令和7年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	6,900,000
玉 翠 会 入 会 金	702,800
受 取 利 息	10,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	7,612,800

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	4,230,000
支 部 運 営 費	850,000
卒 業 生 記 念 品 料	140,000
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
予 備 費	100,000
支 出 の 部 合 計	7,520,000
当年度収支差額	92,800
前年度収支差額	29,622,329
次年度収支差額	29,715,129

令和6年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	7,297,477
玉 翠 会 入 会 金	681,200
受 取 利 息	10,054
雑 収 入	992,154
収 入 の 部 合 計	8,980,885

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	8,468,365
支 部 運 営 費	665,540
卒 業 生 記 念 品 料	128,925
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
創立130周年記念事業準備金	0
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	11,462,830
当年度収支差額	△ 2,481,945
前年度収支差額	32,104,274
次年度収支差額	29,622,329

令和7年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	9,000
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	2,009,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,800,000
教 育 活 動 費	100,000
支 払 手 数 料	10,000
支 出 の 部 合 計	1,910,000
当年度収支差額	99,000
前年度収支差額	28,567,430
次年度収支差額	28,666,430

令和6年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	9,653
雑 収 入	6,000,000
収 入 の 部 合 計	8,009,653

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	1,850,000
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	7,480
支 出 の 部 合 計	1,857,480
当年度収支差額	6,152,173
前年度収支差額	22,415,257
次年度収支差額	28,567,430

令和7年度 甲子園出場記念教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	102
収 入 の 部 合 計	102

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	550
当年度収支差額	△ 448
前年度収支差額	6,010,167
次年度収支差額	6,009,719

令和6年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	102
収 入 の 部 合 計	102

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	400,0000
支 払 手 数 料	550
支 出 の 部 合 計	400,550
当年度収支差額	△ 400,448
前年度収支差額	6,410,615
次年度収支差額	6,010,167

令和6年度 創立130周年記念事業収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
繰 入 収 入	0
会 費 収 入	8,979,000
受 取 利 息	374
雑 収 入	425,000
収 入 の 部 合 計	9,404,374

〈支出の部〉

費 目	金 額
記 念 誌 作 成	0
祝 賀 会	8,867,456
予 備 費	0
本会計へ繰入支出	899,276
支 出 の 部 合 計	9,766,732
当年度収支差額	△ 362,358
前年度収支差額	362,358
次年度収支差額	0

令和七年度 理事会・代議員会開催される

創立百三十周年記念事業を終え、次の時代へつなぐ

理事会・代議員会は五月二十四日(土)午後一時半より高松高校五階ホールにて九十六名の出席をもって開かれた。



間島会長挨拶

開会に先立ち、昨年ご逝去なさったのご報告を受けた六百八十四名の方々の冥福をお祈りし、全員で静かに黙祷を捧げた。

今年度は藤川愛理事(平成五年卒)の司会により進められた。初めに間島会長から、昨年挙行された創立百三十周年記念祝賀会に千名を超える方々にご出席いただいたお礼が述べられた。また、昨年度匿名の方から玉翠会教育基金にご寄付をいただいたことへの感謝の言葉があった。

次に東京玉翠会より渡辺修会長、東海玉翠会より菅野正朗副会長、関西玉翠会より森泰藏副会長、岡山玉翠会より仁木壯会長、徳島玉翠会より



司会の藤川理事

長尾哲見会長にご挨拶いただいた。今年度も五月十七日に行われた東海玉翠会総会を始めとし、各地区で工夫を凝らした総会を準備されており、是非ご参加いただきたいことであった。

続いて中筋校長から、玉翠会の皆様に高松高校の教育活動に物心両面にわたり多大なるご支援をいただいていることへのお礼が述べられた。また、生徒たちの経験値を増やしたいとの考えから、玉翠会から支援をいただいた人道プログラムの継続や台湾の武陵高級中学校との交流を計画しており、引き続き高松高校への応援や激励をお願いしたいとの言葉があった。

議事は会則に従い、間島会長の議長のもと進められた。事務局より前年度事業報告、玉翠会会計等収支決算報告、昨年度文化祭で玉翠庵を運営した高木大輔代議員(平成七年卒)より事業報告と収支決算報告がなされた。その後、天雲俊夫監事より監査報告があり、事業、会計ともに拍手で承認された。(5P参照)

令和七年度玉翠会役員については、高中部会の理事ご逝去により、高中部会の理事がいなくなる事が報告された。新理事として、昨年度文化祭で玉翠庵を担当した平成七年卒の

令和6年10月5日

香川県立高松高等学校玉翠会
2024年度文化祭事業 事業報告

2024年度文化祭事業委員会

- 事業名
2024年高松高校文化祭における御接待所「玉翠庵」の設置と運営
- 事業目的
① 高松高校文化祭において玉翠会主催事業を開催することで現役高生への諸活動に対する玉翠会員の理解を広める。
② 高松高校文化祭への学外からの来訪者に飲料のおもてなしをする。
③ 過去の文化祭の資料をパネル展示することにより高松高校の歴史を内外に紹介する。

- 事業担当者
委員長 高木大輔(H7年)
委員 【H7年】真鍋康正、串田えみ、松本由紀子、岡朋樹、西岡和子、富田あかね、富田淳子、土居篤司、脇房子、森口奈津子、吉武奈緒子、清原友美、吉峰真弓、松本泰子、海部久美子、淀紗子、梶村知宏、坂本幸治、鎌田健
【H6年】川西幸弘、山上佳樹、嶋宏美、有友明美 【H8年】福家孝一

- 実施日時
令和6年9月7日(土) 9時00分～15時00分
令和6年9月8日(日) 9時00分～15時00分

- 実施場所
香川県立高松高等学校 2階南西 206教室

- 玉翠庵来場者数

	7日(土)	8日(日)
9時～10時	97	82
10時～11時	116	136
11時～12時	87	100
12時～13時	67	117
13時～14時	66	58
14時～15時	43	72
合計	476	565

2日間の来場者数合計 1,041名 (前回 2023年(二日目9時～11時が非公開)の来場者数合計625名)

【参考:学校による文化祭来場者推計】

1日目:555組 2日目:1,445組 合計:2,000組 (前回 2023年の来場者 合計1,788名)

※1グループにつき1部のパンフレット配布のため、組数としてカウントされている。

- 決算報告 別添による

- 所見

昨年度、H6卒の先輩方が新型コロナウイルス感染拡大後4年ぶりに玉翠庵を開催して下さい、私たちH7卒はその見学が準備のスタートとなった。昨年度は新型コロナウイルス対策として、ミニイベントで冷茶を提供する工夫がされていたが、今年度は、公開時間が長くなることから来場者が増える見込みもあり、予算面を考慮して従来型の紙コップによる提供に戻させていた。また、新たな取組として①130周年記念祝賀会で製作した顔出しパネルの展示、②DVD『香川県立高松高等学校 100周年新たな旅立ち』の上映、③来場者からのメッセージボードの設置を行った。来場者数は前回に比べ増加し、コロナ前の入場者数に戻ったように思われる。お孫さんが高松に入学されたという年配の卒業生から、我々と同世代の保護者の方々(卒業生も含む)、高校生(他校生も含む)から小中学生まで、さまざまな世代の方が来場され、懐かしそうに旧校舎の写真や自分の世代の文化祭のパンフレットを眺めたり、顔出しパネルで写真を撮ったりと、楽しんでいた。運営面では、県内在住のH7卒業生が集まり、前日の準備から当日の運営、撤収まで協力して行い、生徒の時から30年ぶりの高松文化祭を満喫することができた。玉翠会からもさまざまな面でサポートしていただいた。この場をお借りして御礼申し上げます。以上



東京玉翠会渡辺会長による乾杯

続いて、今年度事業計画案、玉翠会会計等収支予算案も併せて承認された。

その後、創立百三十周年記念事業について、記念誌・文化祭担当の千切谷耕一郎氏(平成

串田えみ氏が選任され、役員改選については、昨年と同じメンバーで運営していくことが承認された。

二年卒)より二年にわたる事業報告があった。玉翠会事務局からは、七月二十二日からファミペイアアプリでスマートフォンでの会費の振り込みが可能になることの連絡があった。

最後に森川輝男副会長の閉会の言葉で理事会・代議員会を終了した。その後、場所をみくりや倶楽部に移し、懇親会が和やかに開催された。



岡山玉翠会仁木会長による応援演舞

支部会だより

東京玉翠会



ホームページ



東京玉翠会 第42回総会

フィナーレでは、毎年恒例、全員が肩を組んで、「たかこう！たかこう！」と応援歌を歌い、皆が団結します。フィナーレに一番テンションが上がってしまったため、「話し足りない！」と、その勢いで二次会に向かっていく姿が印象的でした。会うて話す時間は、やはり最高ですね。日本一の同窓会を満喫させていただきました。

そして本年、第四三回総会は、昨年と同様、東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて実施いたしました。テーマは、「高松百景」。コロナ禍や環境の変化で母校・高松高校を訪れる機会が減りました。高松時代の景色が遠く感じられるとの声を多く耳にします。そこで、私たち平成十二年卒業生は、現在の校舎や高松の町並み、現役生の生活風景など、変わりゆく姿をお伝えし、一人ひとりが胸に抱く母校の光景を呼び覚ますお手伝いをしたいと考えました。「自分の時はこんな校舎だった」「学食のあのメニューは懐かしい」「部活帰りに立ち寄ったあのうどん屋の味は格別」といった思い出話が会場中に広がり、先輩後輩、同期、世代を超えた交流のきっかけとなったと思います。

東京玉翠会では、第四二回総会を、昨年六月八日に東京プリンスホテル「鳳凰の間」にて「さあ、会うて話そ！」をテーマに開催いたしました。五年ぶりのホテル会場での開催、大いに盛り上がりました。

やはり、同窓生と直接顔を合わせて讃岐弁を語らう時間は、大いに幸せを感じる時間でした。甘酸っぱい思い出と共に青春を思い出す時間は、高松高校での三年間がどれだけ密度の濃いものだったかを再認識する時間でもありました。また、高校卒業以来、顔を合わせていなかった面々との会話は、新鮮で、自分一人では思い出せない記憶がよみがえります。非常に心躍る時間でした。

また、現役の高松高校の生徒にご協力いただいた「アンケート発表」を行ないました。



第 43 回総会幹事団

施設やうどん屋の登壇に会場がざわつくこともありましたが、当時の自分と共通する部分を感じること、やはり高松生はそうでなく「ちゃー！」と改めて誇りを感じることも出来ました。アンケートにご協力いただいた八百九十名の生徒と先生の皆様、誠にありがとうございました。

この機会を経て、故郷香川と遠く離れた東京の地で「同窓会」を開催する意義を改めて考え直しました。私の中では、「故郷への恩返

徳島玉翠会



ホームページ



会長 長尾 哲見

(昭和四十四年卒)

全国の玉翠会の皆様におかれては益々ご清栄の事と存じます。

さて、徳島支部は昨年六月二日(日)午後一時に徳島グランドパレスで第三一回総会を開催致しました。コロナ禍の影響と高齢化で以前と比べて参加数が減りましたが、本部から間島会長、母校から中筋校長ら来賓をお迎えし、恒例の特別講演も「武士道と脊椎外科」と題して吉野川医療センター院長の長町顕弘氏のユニークなお話もあり、また、恒例の一分間スピーチやクイズで盛り上がりました。

現在、世界や社会において「分断」が進み、「協調」が失われつつあると感じています。特に若い世代を中心に「SNS」による短絡的な判断で対立を煽る「極化が進んでいる」との指摘もあります。

こうした風潮の中で今再び「協調」が求められています。その解決策として「対話」「会

し」の一つだと感じています。東京という地で、香川の良さを皆で語り合う、そして、「香川への誇り」を再認識する。その熱が膨らむことで、少しでも香川の発展につながればと思います。この同窓会を存続させることで、何かの一助になれば幸いです。

今後とも東京玉翠会を宜しくお願い致します。

第四三回幹事団代表 木村 優介
(平成十二年卒)

話「話し合い」の重要性が指摘されています。国と国との対話、世代間の対話を始め様々な会話によりお互いの立場・意見を理解しあうた上で合意・一致点を見出す努力が大事だと思います。

ヘーゲルの弁証法では正反合(定立・反定立・総合)では正反を止揚し一段と高度な総合的な判断に導く事が形式化されています。まさに対話によって双方が納得する結論に持っていくとの事です。

その為にはそうした話し合いの場が大事であり、その場を持つ情熱と努力が求められます。

その意味では誠に小さな集いかもしれませんが玉翠会の様な学校の同窓会は大事であり、特に各支部の年代や職域を超えた集いは誠に大事だと思います。

年代や職域や立場を超えて人が集まり、近況や体験を聞き、時を共有する機会は現代において貴重な場と思います。

昨年に月刊誌「文芸春秋」に玉翠会の池田豊人香川県知事の同期生達がグラビアに掲載されましたが全国の多くの玉翠会の方々に誇りと励ましを与えたと思います。

最後に玉翠会の皆様と玉翠会の益々のご健勝とご発展を祈念しております。



ホームページ

京阪神在住の高女・高中・高高卒業生の同窓会である「関西玉翠会」(樋口順一会長)は、第三二回関西玉翠会総会・懇親会を二〇二四年一〇月二六日(土)アートホテル大阪ベイタワーにて開催しました。今年のテーマは「あなたがでっきよんな?なんちゃでっきよらんわ!若い人もまいっぺん来てんまい!」

今回の平成五年卒幹事団は、高高旧校舎での高校生活を経験した最後の学年になります。旧校舎と新校舎の両方を過ごすという貴重な経験をさせていただきました。過去から先輩たちが繋いできた「伝統」を、旧校舎の木製の廊下や階段で感じる事ができた温もりを、旧校舎を知らない平成六年卒業生以降の世代に引き継いでいくことが平成五年卒幹事団の使命だと考え、なんだかよく分からなくても

この温かい関西玉翠会に「まいっぺん来てんまい」と、まずは気軽に覗いてほしいの思いから、若者世代にも参加していただきやすいよう今回初めて「初参加割」と「紹介者割」を採用しました。

その結果、合計二二三三人(うち初参加三〇人)にご参加いただき、若者の参加者はまだまだ少なかつたものの、二〇代から八〇代までと世代を超えて交流ができ、若年層全般の参加を促せたと感じます。

総会では母校の中筋功雄校長と卒業生である池田豊人香川県知事をはじめ、玉翠会 間島会長、池田副会長、佐藤哲副会長、加藤副会長、また、東京、東海、岡山、徳島の各玉翠会代表の方々にご来賓としてご出席いただき、樋口会長の開会のご挨拶と池田知事の郷土愛溢れるご挨拶で会場は笑顔と安心感に包まれました。

引き続きの懇親会では、中筋校長の乾杯のご挨拶に始まり、ホテルの美味しいお料理を着座でゆったりとした感じながら同級生同士での懐かしい会話が盛り上がる中、京都大学消化器外科医師の高高卒業から現職に至った



背景と人生観スピーチ(平成五年卒)、迫力ある歌声のゴスペルステージ(平成五年卒メンバー所属四人組ユニット・アンセルクル)、会場全員参加の大抽選会等の催しで大いに盛り上がりしました。大抽選会の景品の一つには、東京で活躍する卒業生(平成二八年卒)に高校章を描いた手作りアイシングクッキーをご提供いただきました。

最後は日五年卒を中心とした応援団演奏とブラスバンドによる生演奏のもと参加者全員が校歌斉唱し、会場一丸となりました。特に応援団の登壇は関西玉翠会では五年振りとなり、中には涙する方もおられ、お陰さまで盛会に終えることができました。

今回の総会にご参加いただきました皆様、年会費・協賛金・広告をいただきました皆様、多大なご協力をいただきました香川県大阪事務所・玉翠会事務局の皆様、関西玉翠会会長・副会長・常任幹事長・常任副幹事長・常任幹事・年次幹事の皆様、会報誌に寄稿いただきました皆様、当日お手伝いしていただきました皆様、本当にありがとうございました。

次回は、二〇二五年一〇月一日(土)に二〇二四年度と同じJR弁天町駅前の「アートホテル大阪ベイタワー」にて開催予定です。我々関西玉翠会は毎年五〇歳になる代が幹事を担当し、一学年下の後輩に「樗」を代々繋いでいます。次回の平成六年卒幹事団は入学時からシン・コウシャで育ったメンバーとなり、ただ今鋭意準備を進めておりますので、今後とも関西玉翠会の活動にご理解を賜りますとともに引き続きご支援の程、宜しくお願い申し上げます。今年も再会できることを楽しみにしています!

(二〇二四年度関西玉翠会平成五年卒幹事一同)





会長 入倉 憲 二
(昭和四十四年卒)

メールアドレス

東海玉翠会第一六回総会・懇親会を五月一七日に開催しました。今回は、ご来賓五名、会員二二名、合計二六名に参加いただきました。参加会員数がこれまでで最少となったのが残念です。これも会員の高齢化や若い方の新規入会が無いことが影響していると思っております。

中筋校長や間島会長には母校や玉翠会について、会員が普段は得られない最新の状況をお話しいただき、大変興味深く拝聴いたしました。恒例となっているクイズ大会では、ふるさと香川の今年最もホットな話題だと思われる「あなぶきアリーナ香川」に関する問題を織り込み盛り上がりました。我らと同窓の池田県



会長 仁木 壮
(昭和四十六年卒)

ホームページ

岡山玉翠会は、岡山という名は冠していますが、鳥取県や島根県に在住・勤務する皆さんの参加も大歓迎です。昨年の総会には出雲市からも参加いただきました。今年の総会・懇親会は十一月一六日(日)に開催予定ですが、詳しいことは岡山玉翠会のホームページでもご案内させていただきます。本会事務局にご連絡いただければ、ご案内状をお送りさせていただきます。総会では毎年、各界で活躍しておられる卒業

知事(S五五卒)が撮影されたアリーナ開館イベントのプロジェクトエグゼクティブマッピング動画も投影させていただきました。

総会後は、名古屋で一番の夜の繁華街である錦三丁目(当地では略して「きんさん」と言います)のお店へご来賓と幹事で繰り出すのが恒例ですが、今年は玉翠会会長や岡山玉翠会副会長にも初めて一緒にいただき、二次会でも楽しいひとときを過ごすことができました。

リニア新幹線の開業(大きく遅れていますが)に合わせた名古屋駅前の再開発に伴い、東海支部発足からコロナ禍の中断を除いて一六年間利用してきた名古屋駅隣接で便利なホテルが来年三月に閉館するため、リーズナブルな価格で、かつ遠方から来ていただく方々に便利な会場探しというのが喫緊の課題となっております。

最後になりましたが、全国の玉翠会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

生等による記念講演を行っていますが、今回は、岡山大学の前学長であり現在香川県病院事業管理者を務める植野博史氏に「人と地球の健康」と題してご講演いただきます。植野様は岡山県のご出身ですが、坂出市立病院でも勤務経験があり、香川県にご縁の深い方です。

本会では、毎年「岡山玉翠会だより」を発行していますが、今年は例年よりも早く、九月に第七三号を会員の皆様に郵送させていただくこととしています。「岡山玉翠会だより」には、総会・懇親会の紹介のほか数名の会員からご寄稿いただき、年代を超えた情報交流の場ともなっています。Instagramでも情報発信をしていますが、今後フェイスブックも始めようと思っています。同窓生の皆さんの趣味の発表会等のご案内も発信して行きます。

ありがとうございました

下記の方々より玉翠会へご寄付を頂戴いたしました。

- 茨城県在住の卒業生の方より
- 京都府在住の卒業生の方より

それぞれ、玉翠会奨学金として活用させていただきます。

- ヴォランティア会 様より

玉翠会運営費として活用させていただきます。

投稿募集のお知らせ

玉翠会報では次のようなコーナーを設けたいと考えております。

- 1 「文集」・・・各学年で文集を出されましたら、一冊事務局あてへお送りくださると紹介させていただきます。
- 2 「卒業写真」・・・卒業写真とともに懐かしい高校時代を振り返り、その思い出、エピソードなどを綴っていただくコーナーです。
- 3 「文芸欄」・・・会員の皆様方からお寄せいただいた作品を紹介させていただくコーナーです。随筆、詩、短歌、俳句など、ジャンルは問いません。

また、「あの先生は今」 「ただいま活躍中」のコーナーに掲載する方のリクエストもお待ちしております。その他お気づきの点などございましたらお聞かせいただけたらと思います。

宛先は「玉翠会事務局」まで、郵送又はFAX、電子メールでお願いいたします。

香川県立高松高等学校 玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町3丁目1番1号
TEL (087) 831-7251(代)
FAX (087) 831-0010
E-mail info@gyokusui.org



メールアドレス

ホームページ

公式：香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部
<https://gyokusui.org/>



ホームページ

玉翠会本部

検索

- ▶ 創立130周年記念誌閲覧パスワード takako130kinen
- ▶ 卒業生限定コンテンツパスワード gyokusuikai1950 (固定)
- ▶ 玉翠会報閲覧パスワード wuu5z (毎年変更しています)

定時制だより

ご挨拶

教頭 中澤 幸子

令和七年度は、新入生六名を迎えて、生徒二十二名(男子十一名、女子十一名)、職員七名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路を見出そうと、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達職員は生徒の個性や希望を尊重しながら、内容を精選し、基礎・基本を大切にしながら「わかる授業」を第一に、と考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて、生徒会を中心に、学校生活の活性化を図っています。

始業前や放課後、教室では、生徒たちのにぎやかな話し声が絶えません。今後とも生徒と教師のふれあいの場を大切に、生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を行います。以下、本校定時制の主な学校行事を紹介いたします。

○入学式 —男子三名、女子三名—

四月八日(火)、六名の新入生が定時制課程に入學しました。

新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と、澆刺とした声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。



○新入生研修 —親交を深めた活動—

四月二十五日(金)、学校から歩いて峰山公園へ行きました。晴天に恵まれ、山の上で昼食をとり、展望

台では島々の浮かぶ瀬戸内海の景色を満喫しつつ、親睦を深めました。ドッジボールなどのレクリエーションをするなど、とても楽しい様子でした。短い時間でしたが、笑顔いっぱい活動となり親交を深める研修となりました。



以下、令和六年度の記録

○県定通総体 —二種目に出場—

六月二十三日(日)、香

川県定通総体が開催され、バドミントン競技(男女)、卓球競技(男)に出場しました。接戦の末の敗退や、思うように力を出せなかった悔しい試合もありましたが、一方で、勝敗に関わらず試合を楽しんでいる様子もありました。



バドミントン競技では、三年次生の伊賀さんが男子個人戦でベスト8に入りました。授業が終わって疲れている放課後、毎晩努力してきたその練習の成果を十分に発揮することができました。

○第七十三回文化祭

—定時制2024—

九月七日(土)、八日(日)の二日間、完全公開での開催となりました。

定時制のメイン企画は、海をイメージした展示とミニクイズ、ゲームです。主に、一年生は廊下や窓の装飾、二年生はゲーム企画の制作、三年生は海のインスタレーションの制作、四年生は観月句会と万華鏡の制作を担当して、準備に取り組みました。



文化祭当日も、来場した方に喜んでもらえるよう、ゲームを盛り上げたり、展示の説明をしたりと接客もがんばっていました。全員が力を合わせ、一つのものを作り上げるという貴重な経験ができ、充実した文化祭となりました。

○観月句会 —月見と俳句—

十月十五日(火)、十三

夜での開催となりました。当日は曇りの予報ながら、幸いにも句会の時間には月が姿を見せてくれました。

保護者や評議員の方にも参加していただき、玉翠会館和室でお茶会を開催しました。和菓子とお茶をいただきながら、俳句の優秀作品が披露され、選ばれた人からは歓声が上がりました。日本の文化を味わいつつ、学年を越えての交流も深めることができました。



- ・月の光は皆平等に照らすかな
- ・月からのパワーをもらってまた一歩
- ・雲隠れ皆で見上げ夜の月
- ・お月さまあなたも家で見てるかな
- ・今年こそ選ばれてほしい月の俳句

○生活体験発表大会 —自身の成長—

十月十九日(土)、サン

ポートホールで県大会が行われ、本校定時制を代表して四年次生の佐々木さんが、「言葉の魔法」と題して発表しました。発表順は一番手ながら、緊張を感じさせない堂々とした態度で、自らの経験と成長を振り返った発表は、「優良賞」を受賞しました。辛いつき、落ち込んだときに、周りの人からかけられた言葉を力にして乗り越えてきた経験を発表する姿に、聞いていた後輩達の心に響くものがあったのではない



いかと思います。周りの人に感謝し、今度はそれを周りの人に返していこうとする姿勢に、発表者の高校生活を通じての成長が伝わる素晴らしい発表でした。

○校外研修 —小豆島利き醤油体験—

十一月一日(金)、小豆

島に行きました。まず一八四六年創業のヤマサン醤油で小豆島と醤油の歴史について教わりました。そして、一般的な醤油の四倍の時間をかけて醸造される再仕込醤油のテイステイングをさせてもらいました。そのあとは、あいにくの雨天でしたが、オリーブ公園に行き、お土産を買ったり、オリーブ畑を眺めたりしました。



○予餞会 —四年次生をねぎらいました—

二月七日(金)、生徒会

が中心となって企画・運営・準備をしました。各学年が催し物を計画し、ゲーム大会を行うなど、予餞会を盛り上げました。楽しい時間で四年次生を送り出すことができました。



○卒業式 —晴れやかな笑顔で—

三月六日(木)、四年次生

三名が晴れて卒業しました。卒業式の後、HR教室で保護者の方々が見守るなか、担任の金丸先生をはじめ、在学中にお世話になった先生方から祝辞をいただき、念願の卒業証書を手にした。高校時代の思い出を宝にして活躍してくれることを祈っています。



通信制だより

二 挨拶

教頭 高木 大輔

通信制課程では、本年度、新編入生四十九名を迎えて百七十二名で活動しています。

通信制の教育は、自学自習を基本とし、学校から毎月送付されるレポート課題を作成、提出して添削指導を受けることが学習の中心となりますが、面接指導（スクーリング）のある日曜日には登校して、レポートを作成する際に解らなかったことを学んでいます。

面接指導以外にも、新入生歓迎行事や文化祭、体育祭、生活体験発表会、遠足等の行事もあり、楽しい雰囲気の中で学習しています。以下、通信制課程の主な行事を通して、在校生の様子を紹介します。

○入学式

四月六日（日）、令和七年度入学式が行われ、一年次生三十四名、二年次編入生八名、三年次編入生六名、特修生一名の合わせて四十九名の新編入生を迎えました。

厳かな雰囲気の中、校長式辞、同窓会からの祝辞に続き、新入生代表より宣誓文が読み上げられ、入学生一同、新たな学校生活に期待を膨らませましたようです。高松高校通信制課程での学びを通して生徒の皆さんの夢や希望が実現できるよう心から応援しています。

○つどい、夢チャレンジ講座①

四月二十七日（日）に行われた「つどい」は、通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。今年には在校生四十八名が参加し、賑やかな雰囲気で行われました。最初に、新編入生からの疑問や質問に対し、生徒会役員からの回答と、実体験も踏まえた学校生活を送る上でのアドバイスがありました。次にグループごとにクイズに答えながら学校内を巡る「謎解き★学校探検クイズ」に取り組みながら、年次をこえて交流を深めま

した。最後に、グループ対抗で「ボッチャ」のリーグ戦を行いました。優勝チームが教員チームと対戦して勝利し、大いに盛り上がりました。また、終了後には皆で本校上空を通過したブルーインパルスの飛行を眺め、その美しい飛行に歓声があがりました。

午後は、夢チャレンジ講座①として、外部講師をお招きし「和三盆・練り切り体験」を行いました。香川の伝統工芸の一つである菓子木型を用いて、各自が好みの形の和菓子作りを楽しみました。



以下は令和六年度の記録

○夢チャレンジ講座②

六月二日（日）の夢チャレンジ講座②では、琴平町を訪れ、中野うどん学校での「うどん作り体験」と、金刀比羅宮参拝等を行いました。今回の体験では、入校式のと手打ち・包丁切体験、うどん生地作りを体験しました。うどん生地作り体験では、ノリの良いBGMがかかり、作業のない人もタンバリンで応援できるようになっていたため、一体感を持って楽しくできました。最後に、麵棒とうどん作りマニュアルがついた卒業証書を受け取り終了しました。終了後は、金刀比羅宮に参拝に行くグループと参道の商店街を散策するグループに分かれ、のんびりした一日を過ごしました。普段の学習活動とは異なり、楽しみながら伝統産業や地域の歴史・文化芸術に触れる良い機会となりました。



○県定通総体

六月二十三日（日）、香川県高等学校校定時制通信制課程総合体育大会が開催されました。本校通信制からは、十二名の選手が、バドミントン、卓球に出場しました。バドミントンでは男子シングルスで山口克功さん、女子シングルスで中上心愛さんが三位入賞し、卓球

では男子シングルスで木村太紀さんがベスト八に入りました。その他の出場選手もそれぞれが真剣に試合に臨んでいました。

○校内生活体験発表会

九月一日（日）五、六限目に全校生徒が五階玉翠ホールに集まり、第五十七回校内生徒生活体験発表会が開催されました。各年次から選出された六名の代表者が学校生活や自分の人生と目標などについて発表しました。どの発表も素晴らしい内容で心に残る発表会でした。審査の結果、一位に四年次の矢田彩花さん「学生と大人の狭間を通信制で過ごして」が、二位に三年次の青井綾音さん「中学三年生の私へ」が、それぞれ選ばれました。青井さんは、代表として香川県予選会で発表し、優良賞を受賞しました。また、二年次の筒井さんが四国地区大会（録画審査）に出場し、努力賞を受賞しました。

○文化祭

九月七日（土）、八日（日）、全体テーマ「The sky is the limit」のもと全定通合同文化祭が開催されました。通信制の教室展示では、四月の夢チャレンジ講座①で学んだ「後藤塗」と六月の夢チャレンジ講座②で体験した「うどん作り」の研究報告に加え、生徒が石丸製麺とコラボして商品企画を行った「高うどん」の販売を行いました。また、芸術選択者や有志による作品展示もあり、充実した内容となりました。特に、「高うどん」の販売は二日目の十二時には限定300個が完売したほど好評を博しました。「高うどん」販売で得た収益は全額、県社会福祉協議会に寄付することができました。



○体育祭

十月六日（日）、本校体育館で体育祭を開催しました。午前中は開会式の後、年次対抗戦としてスプリンリレー、パン食い競争、借り

物競争（女子）、新種目の障害物競走やソフトバレーボールのほか、男子個人戦のゾンビ鬼ごっこなどを実施しました。午後からは、○×クイズの後、久しぶりに復活した大縄跳びや玉入れ、ドッジボールで熱戦が繰り広げられました。子どもさんたち参加の競技も含め、各競技で大いに盛り上がりました。和気あいあいとした雰囲気づくりの中、穏やかな一日を過ごすことができました。



○遠足

十一月十七日（日）、生徒・職員六十九名で、徳島県徳島市のとくしま動物園・とくしまファミリーランドへ遠足に行きました。最初に学芸員の方から動物園の特徴や見どころなどをご説明いただき、その後、温帯区、熱帯区、サバンナ区、寒帯区、こども動物園の五つのエリアを自由に散策しました。また、ファミリーランドに移動し、遊具を楽しむ生徒もいました。かわい動物たちを見たり、童心に返って遊具で遊んだり、心身ともにリフレッシュすることができました。

○生徒総会

十二月一日（日）に生徒総会が行われ、旧役員に八名の新たなメンバーを加えた総勢十四名の新生徒会役員が承認されました。これから一年間、この新役員を中心に生徒会活動に取り組んでいくことになりました。

○卒業式

三月六日（木）、体育館において全定通合同卒業証書授与式が挙行されました。通信制課程では二十五名の卒業が認められ、代表で神原周隆さんが卒業証書を受け取りました。仕事や家庭との両立に苦労したり、さまざまな悩みを抱えたりしながらも、無事この日を迎えることができた卒業生の皆さんは、とても晴れやかな表情をしていました。ご卒業おめでとうございます。今後のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。

令和6年度 先輩講演会

「法律家（弁護士・裁判官）という仕事」

岡 正 晶氏
(昭和四十九年生)



十一月一日、玉翠グロブアルアカデミー（GGA、旧先輩講演会）が本校体育館にて行われた。今回は最高裁判所判事を務められている、岡正晶氏にお越しいただき、「法律家（弁護士・裁判官）という仕事」という仕事

という演題でご講演いただいた。岡氏は、大学に進学して大きな変化があったという。「大学の授業より、街の片隅で子ども会とか法律相談活動をする、そういうクラブ活動に熱中した。この活動の意味は大きかった。人間や社会の生の現実を初めて目の当たりにした。また、用意されたコースを成績優秀者として競争を勝ち抜いていけばいいという人生から離れる経験ができた」と語った。そして、弁護士、裁判官としての

歩みを話して下さった。「司法試験を目指すにあたって、プロフェッショナルな個人ということに魅力を感じた。そして、法律を具体的に勉強し始めると、生の人間の具体的な紛争が見えてくる。大学に入って持った問題意識にぴったりあっていた。『日常的な身近なところで具体的な正義の実現を図る』、これが法律家の仕事であると感じたことが、この道を選ぶきっかけになった。」「最高裁判所の裁判官になって感じた驚きと感動がある。日本の最高裁判所は、他国のように憲法判断だけをする憲法裁判所ではない。したがって、ものすごい数の、数だけではなく種類、多様性を持った事件が上がってくる。民事、家事、商事、行政、労働、刑事……想像を絶するような事件が現

実にこの日本に起きている。そして、この日本の裁判、司法という制度が、これらのとても多くの様々な紛争、事件、事故、犯罪を一生懸命解決している。裁判官、検察官、弁護士、警察の方、刑務所の方、福祉事務所の方……いろんな司法関係者が毎日各地で本当に奮闘、努力されている姿を日々記録から感じている。裁判官になって感じた一番大きな感動は、この裁判、司法が日本の安全・安心・安定を支えている、作り出しているということである。」

法律家という、知ってはいえるものの身近ではない仕事について、その仕事内容や役割を分かりやすく話していただいた。岡氏のご講演は、将来像や社会観という形で、高高校生の心に残ったのではないかと思います。

高松高校の人道プログラム報告

玉翠会が活動費補助

「香川県高校生人道プログラム」三年間を終えて

烏谷 理 希
(令和七年卒)



本プログラムは、杉原千畝氏の妻である幸子氏が本校の卒業生であることから始まり、これまで、杉原夫妻の功績を学びその上で社会の為にできることを考え活動してきました。

昨年の夏には活動の集大成として、ポーランド、リトアニアを訪ねました。実際に足を運んだからこ分かる、千畝氏がビザを発行した時の緊迫感

やホロコーストの想像を絶する恐ろしさ、現地の方と心を通わせる喜びなどを感じることができました。文化祭では、訪問先での学びを展示し多くの方と共有することができました。秋には駐日リトアニア大使を招いて講演会を開催し、海外研修の報告も併せて行いました。大使講演後は質問が途切れることがなく、皆大変興味を持った様子でした。英語で質問する人も多く運営側も大変刺激を受けました。

この三年間多くの方のおかげで貴重な経験をさせて頂きました。「学び伝える」このサイクルを繰り返していくごとに活動の参加者も徐々に増え、人道について考える輪が確実に広がっていることを感じられました。私たちは今年で卒業ですが、頼もしい後輩がこのプログラムを受け継いでくれます。

杉原夫妻の精神に学び、この先もこの「輪」が広がっていくことを卒業生一同願っています。

校 友 会 成 績

運動部の軌跡

〈陸上競技部〉

▽R6県総体

【女子】

▽八百m

一位 高林 恵

▽国体予選

【男子】

▽五千m W

三位 関 遼佑

【女子】

▽百m

三位 大塚向日葵

▽八百m

二位 門田 侑子

▽やり投げ

三位 横田 莉菜

▽県新人大会

【男子】

▽四百m

二位 松内 優季

▽八百m

二位 長尾孝太郎

▽千五百m

三位 可知 佑太

▽五千m W

二位 関 遼佑

▽走り高跳び

一位 三谷 陸人

【女子】

▽百m

二位 大塚向日葵

▽八百m

二位 門田 侑子

▽やり投げ

二位 横田 莉菜

▽四国新人大会

【男子】

▽走り高跳び

一位 三谷 陸人

▽U18/U16陸上競技大会

【男子】

▽走り高跳び

二位 三谷 陸人

▽全国高等学校駅伝競走大会県予選会

【女子】

三位 門田・貞廣・藤井

石川・竹川

▽R7県総体

【男子】

▽八百m

一位 長尾孝太郎

▽千五百m 三位 可知 佑太	▽千五百m 一位 関 遼佑	▽四×四百mリレー 三位 黒川・松内・長尾・木村	▽走り高跳び 一位 三谷 陸人	▽女子 ▽やり投げ 二位 横田 莉菜	〈水泳部〉 ▽県新人大会 【男子】 ▽二百m自由形 二位 津村涼太郎 ▽四百m自由形 二位 山下 千晴 ▽千五百m自由形 三位 山下 千晴 ▽四×百mフリースタイル 三位 河野・山下・津村・渡邊	【女子】 ▽二百m自由形 二位 門田 侑子 ▽百m自由形 三位 門田 侑子	▽R7県総体 【女子】 ▽四百m自由形 三位 門田 京子 ▽四×百mフリースタイル 三位 山田・門田・佐藤・門田 ▽四×二百mフリースタイル 三位 門田・門田・佐藤・山田 ▽四×百mメドレーリレー 三位 門田・佐藤・山田・門田 ▽総合 三位	〈テニス部〉 ▽県新人大会 【男子】 ▽団体 三位 ▽県新人大会 【女子】 ▽団体 二位	▽R7県総体 【男子】 ▽団体 三位 【女子】 ▽団体 三位	〈フencing部〉 ▽R6県総体 【男子】 ▽団体 三位 谷本 丈紘 ▽個人サブプル 二位 【女子】 ▽団体 一位 高木 優希 ▽個人フルール 一位 横井 癡舞	▽個人エペ 一位 宮城 佑菜 二位 芳地 海音 三位 横井 癡舞	▽四国大会 【男子】 ▽個人エペ 三位 滝川 雄登	【女子】 ▽団体 二位 高木 優希 ▽個人フルール 一位 横井 癡舞	▽国体予選 【女子】 ▽個人フルール 二位 高木 優希 三位 横井 癡舞	▽県新人大会 【男子】 ▽フルール団体 二位 ▽エペ団体 二位 ▽サブプル団体 二位 ▽個人エペ 三位 水野孝士郎 ▽個人サブプル 三位 松浦 聡真	▽フルール団体 一位 ▽エペ団体 二位	▽R7県総体 ▽個人フルール 一位 高木 優希 三位 合田りり香 ▽個人エペ 三位 高木 優希 三位 長野 彩愛	▽全国選抜四国予選大会 【女子】 ▽フルール団体 二位	▽R7県総体 【男子】 ▽団体 三位 【女子】 ▽団体 二位 高木 優希 ▽個人フルール 二位 高木 優希 ▽個人エペ 一位 高木 優希 三位 長野 彩愛	〈ヨット部〉 ▽R6県総体 【女子】 ▽シングルハンダー級 一位 勝田 実莉	▽四国大会 【女子】 ▽団体 三位 勝田 実莉 ▽ILCA6級 一位 勝田 実莉 二位 旭 理佐	▽県新人大会 【男子】 ▽シングルハンダー級 三位 杉田 慧人	〈山岳部〉 ▽R6県総体 【男子】 一位 中川・天野 飯田・井下	▽県新人大会 【男子】 三位	▽R7県総体 【男子】 ▽団体 三位 【女子】 ▽団体 三位	〈放送局委員会〉 ▽香川県高校放送コンテスト ▽アナウンス部門 一位 竹内 睦美 ▽テレビドラマ部門 三位 竹内 睦美 ▽ラジオドラマ部門 二位 天野 太陽	▽香川県高等学校総合文化祭放送部門発表会 ▽朗読部門 二位 大西 瑞香 ▽アナウンス部門 三位 五十嵐円夏	▽オーディオ番組部門 一位 水野孝士郎	▽ビデオ番組部門 二位 力本 心美	〈吹奏楽委員会〉 ▽全日本吹奏楽コンクール県大会 金賞 ▽全日本吹奏楽コンクール四国支部大会 銀賞	〈囲碁同好会〉 ▽文科大臣杯全国高校 囲碁選手権大会県大会 【女子】 ▽個人 三位 西岡沙也花	▽香川県高等学校総合文化祭囲碁大会 【男子】 ▽個人 二位 都島 遼英 三位 松下 優	▽女子 ▽個人 二位 山形 はな	▽全国高等学校総合文化祭 囲碁部門出場者選考会 【男子】 ▽個人 一位 松下 優 二位 都島 遼英	〈将棋部〉 ▽香川県高校選手権将棋大会 【男子】 ▽団体 一位 【女子】 ▽個人 一位 高橋美智子 二位 和泉 結愛	▽香川県高等学校総合文化祭将棋大会 【男子】 ▽個人 三位 新居 礁瑚	【女子】 ▽個人 二位 田中悠美子 三位 高橋美智子	▽四国地区高文連将棋選手権大会 【女子】 ▽個人 二位 田中悠美子	〈競技かるた部〉 ▽高文連小倉百人一首かるた 四国地区大会 ▽団体 三位
-------------------	------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------------	---	---	--	--	--	--	---	------------------------------------	---	---	--	------------------------	--	-----------------------------------	--	--	---	--	--	----------------------	--	---	---	------------------------	----------------------	---	--	---	------------------------	--	--	--	-------------------------------------	--	--

令和7年度 教職員人事異動

【転出・退職】

教頭	橋本 博之	飯山高校教頭へ
教諭	福家 寛幸	退職
教諭	泉田 佳伸	退職
教諭	中西 良典	退職
教諭	藤澤 衛	高校教育課主任指導主事へ
教諭	松尾 桂三	高松南高校へ
教諭	橋本 朗	坂出商業高校へ
期付講師	横手 孝之	退職
時間講師	真鍋 正明	退職
事務	矢代恵梨奈	高校教育課へ

【新規・転入】

教頭	中澤 幸子	高松工芸高校より
主幹教諭	三枝 恭子	本校教諭より
教諭	齋藤 祥子	三木高校より
教諭	伊賀 史朗	高松第一高校より
教諭	三木 大輔	高松商業高校より
教諭	中北莉生子	本校代替講師より(新規採用)
教諭	川田 悠統	新規採用
期付講師	浅田 晴香	高松商業高校より
期付講師	森脇 ゆな	坂出高校より
非常勤講師	西山 款子	高松桜井高校より
期付講師	井上 智子	本校元非常勤講師より
時間講師	新田 智子	
時間講師	山下 真依	高松西高校より
事務	小椋百々子	新規採用
教員業務	山本 愛梨	
支援員		

令和7年度 大学合格者数

1. 国・公・私立大別合格者数

(令和7年4月2日現在)

学 校 名		人数	学 校 名		人数	学 校 名		人数	学 校 名		人数	学 校 名		人数
国	北 海 道 大	1	国	徳 島 大	11	私	埼 玉 医 大	1	私	明 治 大	10	私	関 西 大	22
	筑 波 大	2		香 川 大	31		千 葉 工 大	1		明 治 学 院 大	1		関 西 医 大	3
	千 葉 大	1		愛 媛 大	4		青 山 学 院 大	7		立 教 大	11		関 西 外 大	4
	お茶の水女子大	1		九 州 大	12		学 習 院 大	3		早 稲 田 大	23		近 畿 大	23
	電 気 通 信 大	1		九 州 工 業 大	1		北 里 大	4		愛 知 医 大	1		関 西 学 院 大	42
	東 京 大	2		長 崎 大	2		慶 応 大	17		豊 田 工 大	1		甲 南 大	4
	東京科大（工）	6		熊 本 大	1		工 学 院 大	1		京 都 外 大	1		神 戸 薬 大	3
	一 橋 大	1		宮 崎 大	1		国 学 院 大	2		京 都 産 業 大	6		岡 山 理 大	3
	横 浜 国 立 大	2		国立大学合計	185		駒 澤 大	1		京 都 女 子 大	8		川 崎 医 大	1
	信 州 大	2		公	横 浜 市 立 大		1	芝 浦 工 大		2	京 都 橘 大		1	川崎医療福祉大
静 岡 大	1	都 留 文 科 大	1		順 天 堂 大	2	京 都 薬 大	2	就 実 大	1				
名 古 屋 大	1	岐 阜 薬 科 大	1		上 智 大	3	同 志 社 大	82	広 島 国 際 大	1				
名 古 屋 工 大	1	静 岡 県 立 大	1		成 蹊 大	1	同 志 社 女 子 大	3	安 田 女 子 大	1				
滋 賀 大	1	静 岡 文 芸 大	1		多 摩 美 大	2	立 命 館 大	112	徳 島 文 理 大	13				
京 都 大	16	名 古 屋 市 立 大	1		中 央 大	12	龍 谷 大	7	松 山 大	2				
京都工芸繊維大	2	滋 賀 県 立 大	1		津 田 塾 大	2	追 手 門 学 院 大 学	3	産 業 医 大	1				
大 阪 大	20	大 阪 公 立 大	10		東 京 農 大	1	大 阪 医 薬 大	3	福 岡 大	2				
大 阪 教 育 大	2	大	神 戸 市 外 大		2	東 京 理 大	12	大 阪 工 大	2	私立大学合計	501			
神 戸 大	17		岡 山 県 立 大		2	東 洋 大	1							
奈 良 教 育 大	1		山 口 東 京 理 科 大	2	日 本 大	1								
奈 良 女 子 大	3		北 九 州 市 立 大	1	日 本 獣 医 生 命 大	1								
鳥 取 大	1		公立大学合計	24	日 本 女 子 大	2								
岡 山 大	27		大 学 校 等	水 産 大 学 校	1	法 政 大	13							
広 島 大	9			大 学 校 等 合 計	1	武 蔵 大	1							
山 口 大	1					武 蔵 野 美 大	4							

2. 国・公・私立大学学部別進学率（％）

学 部	文 外 語 社 会	法 政 治	経 済 商	理 工	農 林 水 産	医 薬	生 活 科 学	体 育	芸 術	教 育	そ の 他	合 計		
計	18	13	13	9	21	3	10	3	1	1	1	5	1	100

◆◆◆◆◆ 玉翠会員から図書館への寄贈図書について ◆◆◆◆◆

上田 倫氏 (昭和48年卒)

知の再発見叢書『マホメット』 アンヌ・マリ・デルカンブル著 他 計4部

令和6年度 東京玉翠会より寄付金 150,000 円をいただき、下記の図書を購入いたしました。

- ・世界のビッグヒストリーセット 全 6 巻
- ・数学 30 講シリーズ 全 10 巻
- ・ケンブリッジ英語百科事典
- ・俳句の事典
- ・豆類の百科事典
- ・博物館・美術館の世界史 I

計 157, 520 円
高松高校図書館

令和六年度

令和七年三月三十一日現在

会費納入者

旧職員

芥一男、安部勝雄、池西裕、浮田清市、牛田尚、靱俊男、小野真知子、鏡原壽、木村斉、志原正敏、杉岡保之、寺嶋和子、長尾裕隆、永澤正好、中塚美代子、中野望、乃村龍決、藤本美紀、真鍋正明、本澤大弘、山内康照

高中

昭二二 細谷寛
昭一五 左達史朗
昭一六 福家幸二
昭一九 星野孝、吉武秀夫
昭二〇(五〇回) 大津新平、多田照、前田輝夫
昭二〇(五一回) 入谷啓一朗、萱原博美、柴野照博
昭二一 前田勇、真鍋舜治
昭二二 大西龍高、藤澤龍一
昭二三 佐野宏哉、村川正良
昭二四 上田宏二、藤本孝雄、吉野頼寿

晩翠

昭一七 村尾幸子
昭一八 熊野弥生、三宅スズ子
昭一九 青木富美子、沢井志津子、平井弘子
昭二〇(5) 黒島篤子、桑内道子
昭二〇(4) 大山禮子、陶山和子、八田明子、古竹佳子、満岡式子、松島千代、山田洋子
昭二一 安達恵美子、出淵寛子、井上幸子、植田美重子、川下郁子、河野桂子、西山恵美、古市寿子、堀川幸、藪内信子、山崎朝子
昭二二 井内菊代、筒井喜代
昭二三 穴吹瞳、岡田町子、鎌田良子、近藤富士美、佐々木喜美、高嶋和子、田山佐代子、出口ツタエ、松岡道代
昭二四(女子高) 中塚綾子、野口喜世子、蓮井和子、八田恵美子、福田文子
昭二四 板坂恒子、上井茂子、加藤梶子、萱場敬子、小西道子、多田幸子、辻幸子、広瀬テル子、真鍋温子、宮武久子

高高

昭二五 井原昭三、木村崇也、木村寿美代、国方勝、多田幸男、平尾和俊、平見芳和、堀正和、槇塚安得、渡部和子

昭二六 浅田宜仁、伊賀智壽子、磯部祐子、井上之、今竹勝、岩田和哉、植原守雄、大須賀選、大林淳子、雄倉孝尚、大佛和子、大比賀友喜、香川勝、香川貞子、梶富喜子、川越久子、北島定子、木村高夫、木村道夫、久保あけみ、小林克己、櫻井文榮、七條昌一、島田美津子、白川ミヤ子、末澤正則、竹島十三子、田中博子、谷穀夫、谷本エミ子、富山弘子、中北恭子、中野圭子、中村咲三、灘波文子、根岸茂、野村美栄、葉原耕平、板東節子、平井二郎、蒔田美智子、松岡正近、松本利夫、真鍋ヒロ子、溝刈徹、森武子、山名昭恵、吉野宗

昭二七 明石多美子、朝江恵恵子、井川久之、池内俊隆、石津則子、今澤輝子、上坂小夜子、大久保弘子、大谷寿恵、大塚寿子、大西久美、岡義男、岡野博通、岡本節夫、柏原利衣子、算双子、勝又忍恵子、角陸正健、木下治代、木村栖子、木村多美子、栗山明子、桑島幸子、小島徹、斉藤キク子、坂口弘子、高橋正、多田幸子、多田昌弘、谷野瑞代、谷本久美子、土田孝栄、長尾薫、西山美代、蓮井玲子、濱本藤夫、林越幸、原慶子、平田英明、廣瀬朔子、松原大子、真辺千也子、水嶋浅茅、三好洋子、三好幸子、山口芳子、山下祥治、山本良子、山本洋子、渡辺潤一、内海彰子、久保和子

昭二八 青木泰子、浅田正夫、池田孝、井上洋子、今岡哲雄、朝紀子、太田宜子、大塚裕康、大庭珠子、大畑峯子、鹿塚緑、萱原洋子、川口春陽児、木原昌彦、小嶋治男、小谷主子、児玉正豪、児玉昌子、齋藤敏夫、白石典彦、末澤富美子、関谷聡子、造田純代、十河弘、武田節子、多田信夫、鶴川舜一、寺林悦子、永井正敏、中島倫子、西田節子、平田實、福田隆有、堀江曉子、前川初枝、町田照代、松本美津江、毛利滋、森恵洪、森田一、山西守、横田大和、吉田留美子、渡邊典子、高松千鶴子、松本喜久子

昭二九 安岐正弘、浅田峯子、井川保、井川和子、池内章、石橋治、石丸啓子、井上幸代、今治幸子、漆原英子、大熊明子、太田幸子、大林晃子、奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、木村義彦、久保富子、小島靖稔、佐藤靖子、篠原緑、田中澄子、土居邦子、中村成子、長谷川汎、福西久好、福家信雄、福家知子、藤本方子、堀田迪子、間島豊、松本美栄子、真鍋千賀子、三浦昭子、三好良子、村上民子、安松玲子、湯谷節子、吉田晃、吉永清子、由水政子、和田弘子、田中朝江、辻敦子、藤田孝栄、松崎淳子、青木千夏子、柏原清、中村一美

昭三〇 秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イソエ、池添善山、植田明、植松修三、遠藤俊一、大沢一子、大林弘子、岡内美和子、岡田昌子、寛千賀子、加宮利貞、木村貢、黒川数子、篠原俊一、白井勝子、鈴木靖子、高浜修、田中千種、谷上多恵子、辻孝夫、豊田治、中井千代栄、中障子、西岡、中西恵美、中橋喜久子、中村博實、西井戸惇子、西岡喬、荷宮英文、原田佳江、坂東富美子、平尾和子、福田尚子、藤原洋子、前谷亮三、松井昌子、松井慶

子、源淑子、箕輪圭子、宮武寛、宮本宣明、村山守信、森井晶子、森下一仁、吉川孝、渡辺澄雄、田中和夫、古川利夫

昭三一 池上宏、池田郁子、井竿喜久子、石濱和子、泉川繁代、井上靖彦、井上和子、岩部克美、植松武彦、鶴川英、大熊敏彦、大坪浩、大西孝一、垣田亮治、笠井省三、加藤徹、角谷實、金澤周子、河合功、神原博、倉田康男、栗永和田子、黒田道子、香西泰彦、香西幹夫、古賀英子、佐々木敬子、関知恵、田岡典子、高木美博、高原白井治、須賀敦子、岡々知、田村秀子、中條安雄、寺内和子、長尾マリ子、中川和代、中村都、中山信之、西川勢津子、西村和雄、西脇美重子、橋丘夫禧子、原節子、樋口正明、久松節子、藤澤敬子、古市清子、逸見正造、細田淳雄、松尾景子、真鍋恭子、溝渕孝雄、宮武茂行、山崎敏輝、山下實、山田光彦、吉川和子、吉野文子、上枝巧、木村允子、塩田雅子、多田節夫

昭三二 足利昌子、池添眞砂子、今松順子、上野美津子、鶴澤敦子、大塚順子、大屋敷重信、小笠原坦、小田原満知子、梶河正孝、樫野弘子、柏原艶子、鎌田正誠、川崎妙子、川谷幸子、久米哲雄、合田重子、後藤武俊、小西靖子、近藤敏、佐伯勉、塩梅若菜、新名忠矩、末澤弘嗣、杉本静江、鈴木房行、高橋照子、高島穂子、武田七郎、龍田玉子、田中伊都世、谷川照、地下洋、鳥居三千代、長尾稔、長尾由子、中筋二郎、中村咲香、西浦雅子、新田美千子、波多野光子、花崎良政、濱田清、樋口浩良、藤井人志、藤田恭子、藤原克子、伏石和美、松本邦子、水野忠彦、三野正博、宮本宣博、三好守真、村上征一、村上由美子、森田健一、森田幸子、森山義政、安永英明、山川早苗、山崎可壽子、横山温子

昭三三 浅田裕、天野勢津子、池尻治、石井全、井宮秀明、植松俊彦、植村登、白杵貢江、漆戸清子、大岡純子、大西夏、大村晃子、大森恭子、岡野道子、岡本政俊、河北晏矩、神辺俊郎、木村栄二郎、国方康博、久保正範、桑名芳昭、佐藤弘子、柴野孜、瀬正子、瀬藤利生、相馬花子、十河靖子、高木耕三、竹内圭子、多田厚子、伊達由紀、谷本正彦、田村大司、千葉節子、鳥塚尚子、中井道子、長尾紀子、長谷川勝子、畠山美穂子、原田純、原田貴弘、平野数夫、廣瀬彰彦、藤村武子、藤本利、藤本良貴、二川文一、古市哲一、岡田登代美、前川勲、前田恵孝、前田道之、松村也子、真鍋光広、真鍋輝夫、間宮淳子、丸岡幹二、三谷純子、武藤満雄、八代紀子、山口興平、山田守雄、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、渡邊謙、片山由美子、組橋恭子、佐野紀子、浜田桂子、丸岡紀代、横関紀久子

昭三四 明田繁美、安藤知子、安藤佳子、池田一昌、石田暁光、石原英輝、井上リエ子、岩田淳史、上田和子、大久保博、太田孝、大野由美子、小神伊佐子、岡本徳子、尾崎信子、香川信義、香月桂子、加藤祥子、門田孝子、

鎌野幸子、河合洋祐、河瀬一紀、川田泰生、喜多俊雄、木原文太左右衛門、國宗達旦、河野一郎、近藤敬司、近藤清子、斉藤郁子、斉藤雅美、三枝基、佐竹睦子、佐藤薫、佐藤郁子、塩本宏子、品治重忠、篠田善児、柴原力、清水美智子、新名長文、新名恒子、杉喬、関根和子、十河智江子、高橋久博、竹内章雄、土居英樹、土居貞佳、土井弘子、豊田郁子、中谷浩三、中村裕恵、名合智子、鍋田佳子、東川澄清、東川郁子、樋口順一、平井伸也、平田泰、平田豊、福家俊男、藤井照芳、細川治、堀家敏弘、牧野豊、松本英幸、真鍋武三、三栖祥児、湊和子、宮川栄之助、三山雅敏、村上雅子、百生初枝、森岡令和、守屋園昭、吉野紀代子、渡辺修、渡邊恵子、広田耕一郎、村上博

昭三五 青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、池田史子、石田守正、伊藤保恵、糸見幸代、印藤孝彦、大川治子、大木幹夫、大塚佐知子、大坪和彦、大西大介、大西周作、大西信子、岡崎旦、岡澤恵美子、小笠原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田雅子、織田久美子、小野利明、小原文子、笠井ミヤコ、笠井邦彦、片岡章、加藤鏡子、金谷郁子、鎌田毅、鎌田進一、鎌田隆、加宮恵美子、亀井通孝、河合英幸、川口正之、河田俊彦、菊池洋子、岸田豊江、北谷英紀、木下進、木下榮一郎、木村勝紀、國宗孝雄、倉本久美子、黒田俊英、黒田泰弘、国生徹、児玉皓次、児玉秀正、小林好美、斉藤寿良、酒井典子、佐々木義胤、佐々木史朗、三田喜代美、柴田輝男、清水綾子、修理輝男、城山和代、末澤功、末澤玲子、図子知久、銭谷玲子、世羅義昭、十河純一、蘭浦政勝、田井朋子、高木茂昌、高濱孝、高原徹、田中紘一、田中省三、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、玉越公智、田山棟信、團野恵子、中條和臣、中條邦宏、土屋美子、土井伸一、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、折折慶子、富永千恵子、友安秀子、豊田章二、中野紀子、中村昇、仲邑法顕、中村美千代、中山幸子、西村洋子、西本功子、秦英樹、浜本俊一、平地嘉子、藤井英世、藤田紘美、藤本征機、藤本定斗支、二川浩三、星野登美、堀田健治、堀池光、増田恵美子、松本信、松田サチ子、松本修一、松本孝子、真鍋敬毅、真鍋禮男、溝川陽子、三野宏、三村良弘、三宅治美、宮武秀夫、宮武哲、宮本仁美、向井輝彦、元久正美、森順子、森川伝、森山亮、山下俊次、山科桂子、山田泰三、山本泰嘉、横山邦子、和田脩、池田修、新田笑子

昭三六 浅田昭、穴吹洋幸、安倍倬、荒木統、池田正美、池田洋子、井上浩一、井上孝子、岩村清志、植松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江川希美子、江村美光、太田房雄、太田曙美、岡奎子、岡興久、岡田啓一、岡部洋子、越智美子、片山重正、鎌田基志、釜野智裕、鴨川尚史、木村和照、木山昭来、久保正篤、久保田幸世、熊野昭、桑島美、小嶋武士、五ノ坪恵子、小林孝良、小林忠子、近藤洋子、佐々木文子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、四宮

靖三、四宮美江子、神内好伸、鈴木鞠子、千切谷多一朗、
辻川小枝子、徳永孝明、飛田久子、飛谷節子、豊田英紀、
中村敬、西川恰子、西村博、花岡清子、原洋子、久本紘
一、平山祐助、藤本良子、細川憲昭、細川修吾、前田葉
子、増田徹也、増田昌三、松尾美智代、松岡重子、松沢
尚子、松下好博、松原寛治、松原信、松本英伸、松本保
子、真鍋宣子、真鍋芳美、真鍋尚義、三澤順子、宮本暢
子、三好益美、森祥子、森澁子、山口豊子、山地正彦、
湯藤美千代、吉田澄子、吉武泰俊、與田康子、渡辺寛、
和波保
昭三七 秋山建樹、荒井信子、荒木正志、安藤正道、伊
賀淳、猪又清之、漆原澄子、大須賀誠、太田義行、大野
毅郎、岡田超生、岡本房子、小川翼、小国昭、小沢規夫、
小野泰子、香川暢也、金田清臣、北泉洋子、北岡保之、
北岡幸子、熊敏彦、黒田好子、黒沼淑子、桑名信雄、五
井修子、香西敏、河野芳樹、小松義照、小山紀彦、近藤
俊子、齊藤司朗、齊藤尚則、澤村田鶴子、塩田洋、関内
美美子、神保昭子、杉内克己、須崎俊子、鈴木郁子、関
口俊彦、千野昭代、高尾義介、高濱信之、高松薫、竹下
邦彦、多田正大、多田清美、立花広海、谷口義明、玉置
正、辻勝子、寺尾駿、豊島玲子、鳥居昌子、鳥飼鮎、長
尾榮治、長尾幸夫、長瀧秀信、中野義子、野崎敦夫、幡
英一、幡多茂美、藤澤峻、藤村祥一、二川尚、広瀬健
次、福田照美、藤澤峻、藤村祥一、二川尚、広瀬健
次、澤惠昭、細川昌美、塹江正志、本條比佐子、船曳桂子
松岡博昭、松本芳樹、南秀樹、三原弘子、宮武邦夫、宮
野明子、宮本啓子、宮脇和夫、三好勝彦、村上誠一、森
忠彦、森田順子、山崎敏範、山崎瑞枝、吉田雄二、吉田
育代、和木典子、鹿嶋忠明
昭三八 朝國武子、石川喜久、石橋紀明、和泉英彦、一
小路宏美、若倉信子、岩嶋樹也、上北圭子、植田重則、
上田英敏、植松勝之、内海茂男、大西宏子、大橋公則、
岡田幸子、岡部敦弘、小川実、香川邦子、梶村正俊、鎌
田邦栄、北角幸弘、吉瀬祥子、楠知子、熊野賀都江、葉
島一葉、小杉忠夫、後藤節子、重松麗、島子矩子、新藤
禮子、須田勉、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高田美穂
子、高橋俊一、高橋修一、高橋昭子、高橋悦子、高松洋
田阪武夫、多田泰子、立山真浩、田中富久子、玉城哲子、
辻義人、富家勝、野口吉信、原田正文、東原英二、廣田
一機、廣田正子、福士三子、福家正博、福家桂子、藤
岡勢都子、藤田雅敏、二川俊秀、松本秀三郎、真鍋慎吾、
真弓哲二、水口裕之、水本尚、溝内享治、宮武正明、三
山恵、宮脇美子、三好尚武、向井友一、森茂昭、森川信
子、森田紘一、森永健一、柳敏三、矢野智行、山谷幸男、
吉武信子、和田かず子、渡辺トシ子、石川洋介、常谷忠
克、中山哲子
昭三九 赤澤寛幸、浅田鈴子、東時子、安藤武士、伊賀
俊夫、若佐多佳子、植村正子、遠藤順子、大西興二、大
西昭宏、大和田昭邦、岡健、小笠原邦夫、小倉良弘、小

畑美智子、小比賀俊彦、河西和江、桑井政信、香西祥子、
小塚照美子、小西博行、齋江知、佐古昭代、笹川滋、佐々
木義子、佐竹勝利、佐藤孝、塩田嘉明、重松純子、渋谷
崇子、島本梨恵、須田嵩、瀬川博子、高田等、武田一恵
多田久幸、近石一弘、千切谷真澄、寺尾眞樹、中井徹、
長尾利男、永崎隆雄、中西登紀子、長町典夫、西島正子、
西本攻、蓮井直行、蓮井愛子、蓮井加代、濱本貴美子、
原田美由紀、藤川吉祥、藤川幸子、藤原一俊、松田満里
子、松田美也子、松村憲太郎、松本勉、松本英子、真部
利也、湊真博、三野安意子、宮北薫、向井紹子、村井恵
子、山下祐一、山地正克、横田豊、吉岡郁子、吉田雅子、
吉原哲也、和田朗、常谷香代、米津照夫
昭四〇 赤岸滋、赤松葉子、穴吹和士、穴吹貞文、安藤
尚世、安藤隆、泉谷武信、稲葉昌子、伊原本久美子、岩
瀬雅宏、岩藤昌樹、白杵季典、大川直澄、大野千鶴子、
小西孝則、小野スミ子、小比賀晴美、片山曉子、亀井貞
雄、荻原徹男、河瀬登、河田マリ子、北坂典子、北原幸
子、栗林伸碩、後藤康生、後藤正徳、小西憲昭、品治純
子、白川秀則、末包昭彦、高尾佳巳、高見政己、高見純
子、詫間敬芳、竹本正憲、玉置通夫、玉越美雪、土屋博
子、堤康、角田朝則、遠山誠司、徳永信子、中上昌三郎、
中川二郎、中西かをる、長野新一、中村茉莉子、中山隆
司、中山稔、名和昭子、西尾道子、西尾嘉孝、西田耕治
西原浩、乃一裕、野口章男、八田光、平尾勝三、平賀政
子、福井義喜、福井秀明、藤川江光、邊見敬三郎、前田
みどり、横井和彦、外形勝、松田滋明、松原珠美、松本
百合子、湊唯義、三原衛、三宅道子、宮西克彦、森岡茂
森本雅榮、森山敏子、八十八川紀夫、山岡久美子、山下美
智子、山田義雄、湯藤隆司、吉田穂束、割石順子、塚田
昇
昭四一 赤沢武基、赤沢喬子、足立協彦、有岡喜久子、
岩田喜美枝、岩村わか子、浦川建一、漆原万里子、江郷
知也、大石和江、大谷俊子、大西利喜子、大教修一、小
笠原敬三、岡田憲政、岡本敬子、荻田耕三、小田レイ子、
折坂義雄、榎原正也、加藤英子、金尾光子、鎌野昌司、
河合達治、河口三枝子、川田友親、川田清彌、川南節子、
喜田幸子、吉川章彦、木下俊子、日下瑞子、楠聡文、久
保稔、桑島治子、香西志津子、合田吉徳、河野正子、小
塩田孝、小西博子、近藤秀樹、佐々木良一、佐藤清二、
塩田孝、七條益代、志摩靖子、島村久美子、白井清司、
杉上彰、鈴池典子、鈴木清子、砂川敏文、諏訪輝生、関
根建一、十河秀敏、孝岡弘子、高田敏也、高橋博之、高
濱安子、武井邦夫、竹内憲夫、多胡護、田島文子、多田
玲子、田附尚、立野省一、田中陽子、田村貞雄、田村真
美子、筒井順子、鶴見邦夫、土居徹、登那木悦子、富田
朱美、友時照俊、長尾肇、長尾明、中原きよ子、中村弘
中村美智子、中村陽子、中山艶子、灘波章、野口吉秋、
橋本みどり、羽世田幸子、浜坂保治、浜坂幸代、東原憲
子、広瀬政憲、広瀬讓治、広瀬幸子、福井励子、福川き

く代、藤澤淳、藤野裕子、藤本彰二、堀井茂男、堀池典
子、本津孝幸、間島輝利、松井美美、松浦典代、松本信
吾、松本太一、松本博子、松山千恵子、真弓研介、丸吉
章、萬谷嶽典、三浦卓二、三河豊章、三木知子、溝淵利
博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎一郎、宮崎高子、宮下慎
一、宮脇良秋、六車正章、村井邦汎、牟禮明、森茂樹、
森知子、矢野恭治、山崎三十子、山崎律子、山下民子、
山田智、山西和子、山本一郎、山本圭子、横田ひとみ、
米澤幸子、寅丸絹江、森川輝男
昭四二 明石陽子、阿部修二、池内巧、池田文明、池田
茂、石橋真知子、稲田和則、井上協典、岩崎敬子、岩嶋
修治、岩本悟子、植田忠秀、朝修二、大須賀和子、大坪
美知子、小笠原倫子、岡田はる子、小倉マリ子、遅沢徹、
織田靜信、香川茂雄、香川マサ子、梶村恭子、片山博親、
鹿庭耀子、鎌田野子、川西笑子、川西進、川野壽、河本
彰、熊野清、桑井純一、小磯修二、古米俊雄、佐竹和子、
佐藤公信、佐野八重子、隅田和子、瀬尾憲正、瀬尾洋子、
十河幸子、高尾信子、高嶋博、高橋敏美、竹内富美子、
多田恵美子、田原清美、田伏繁晴、田村隆男、対馬健三、
手島洋一、樋端敏生、中井敬一、中尾正喜、中村芳正、
浪尾博志、橋田敏子、波柴幸子、馬場康史、原田俊、平
井大資、平井健一、平井陽子、平尾準一、平川峰子、藤
澤哲夫、藤田万久、藤花康子、二川正志、堀上さえ子、
前田直宣、前田直代、前田糸子、植田實、増田佐由美、
松浦利行、松尾和代、松岡恵平、松本和幸、松本隆茂、
松本学、真鍋泰子、三木周一、水本節子、皆川鈴子、三
宅知恵子、宮武秀俊、宮本多恵子、森一真、山形久美子、
横手朱美、植條清美、岡田久、毛利成一
昭四三 浅野彩子、東豊、穴吹修二、安部くみ、安西修
二、安西俊樹、飯田博、飯間秀雄、伊賀三千廣、井川洋
右、池田篤子、石原有子、和泉克広、出上文雄、伊藤擴
充、稲毛敏三、石倉則夫、上杉哲人、植田里津、上野準
一、植松正良、宇川彰、牛川務、内田透、卯目和巧、大
川久枝、太田道博、大西豪、大林和南、大層秀人、岡部
悦子、鏡原満、香川優、香川敬三、櫻昭二、加島英一、
加藤秀樹、加藤一正、加藤育子、門田賀子、川崎正視、
川崎達夫、川畑省三、喜多悦子、北原信子、吉川富子、
鬼無律友、桑田淨伸、桑原安子、小坂悦夫、斉田光則、
佐々木実、佐藤俊行、佐藤泰子、七條政志、柴村孝昭、
白川房子、杉浦健一、土居泰司、大師堂清美、高岡英治、
高木英一、高橋久子、詫間行友、竹下和男、竹永企美子、
伊達順子、田所美津子、田中恵、筒井伸司、常谷薫、坪
井俊樹、樋端みどり、永井博行、中塚静夫、中野百合子、
中村敏雄、中村谷年威、西村みち子、二宮信治、能祖文
雄、原田洋子、東原潤、平尾美子、平山隆子、藤沢謙二、
藤澤万季代、藤澤福子、藤田壽子、藤村勇、籠進、古澤
幸夫、別枝修、星野次永、堀家みどり、松見裕一、溝淵
寿一、溝淵敬子、三谷千尋、宮脇範次、三好貴志男、三
好三香穂、村瀬千明、矢野裕子、山崎具美枝、山下明、

山本巧、山本二平、山本道子、湯山伸一、吉本泰三、頼
富節子、渡辺純子、井崎温子
昭四四 秋本まり子、天野拓、天野百合、伊賀宏文、石
川幸子、糸瀬敏恵、井上正美、入倉恵二、岩部卓雄、上
杉エリ子、植松恭平、内原勇、遠藤隆江、太田賀久、大
山正恵、小原文雄、海面豊、影山潤子、梶茂樹、片山美
穂、鎌野富士子、河井忠比古、河合幹夫、川田佐知子、
岸本律子、木村明美、木目由美、久能健一、久保克己、
熊丸幹子、桑島賢子、見満紀美、小泉康裕、小里和夫、
小西博子、齊藤昌延、早乙女照美、佐竹悦子、里見恵子、
清水具代、清水昌子、白川滋、須田文登、隅田秀一、高
橋利治、高橋千寿子、武内知洋枝、竹内司、竹広章代、
田代恵子、多田讓治、多田薫、多田好克、田村正行、中
尾裕、中尾好輝、中尾洋子、長尾哲見、中山真理子、野
崎達二、濱島研作、林越洋子、平尾幸夫、平田隆久、広
瀬康裕、広瀬真理子、福田雅子、藤井保秀、藤本和子、
松本美知子、松本伸一、丸尾幸嗣、溝淵香代子、宮井陽
一郎、宮地英子、三好純一郎、向井万里子、虫本光徳、
村川英一、村松礼子、森崎秀子、山本博、湯浅葉子、和
田俊裕、渡部莊三、渡邊洋子、六車大
昭四五 青木茂、青木安道、青田郁子、穴吹恵美、安西
陽子、安藤和池、池崎充、池田由子、池長由紀子、石鍋
典子、泉裕、伊勢明人、伊藤輝一、岩見葉子、植田和
弘、植田由量、大熊一任、大佐茂和、大澤昌子、大嶋正
子、太田和代子、大坪恵美子、大西茂明、小笠原弘子、
岡田行雄、岡本久大、小佐野千重子、片岡正章、加藤寛、
加藤朋子、金森森哉、亀田進、川田由美子、喜岡渉、菊
間恵子、岸本泰三、喜田圭一郎、喜田恵治、北川康裕、
國友美則、国信俊行、久米川和子、久米田茂喜、古賀益
子、小島照雄、小西郁生、小山美恵子、榊原賢治、坂口
道啓、坂元順子、坂本博子、櫻又正士、佐々木和子、笹
島幹豊、笹原常良、穴戸晴美、下村博子、神内幾代、住
友照明、諏訪千秋、高垣健治、多田幸司、多田啓志、立
松瑞子、田中弘之、田村寛司、田村裕子、天雲定義、天
雲一裕、土居直哉、富百世、中博史、中川茂樹、中津佳
昭、中塚みどり、中本由美子、中山幾代、西岡千鶴、西
本博、原田育枝、平田博、福西敏浩、福家哲哉、藤原裕
子、古川健造、松所博子、松尾秀樹、松岡正己、松岡幹
雄、松家由岐子、村田富美子、真鍋和人、三浦雄二、三
好章夫、向井幹雄、村山正俊、森岡真治、森田知恵美、
安岡淳一、矢野年紀、山原芳男、吉田恭典、米沢基子、
渡邊智樹、渡邊寿磨子、渡里幸平、綾順子、村川正信、
川下幸夫、北岡讓、湊文典、村上美智子
昭四六 秋友直文、植松道治、大谷義美、大村章子、岡
保彦、鬼澤千秋、加藤雅子、鎌田順二、川上規子、川
崎将弘、鬼無敬子、木村修久、国方秀二、河野順、小西和
子、齋藤誠二、佐々和子、佐々木郁子、七條正典、篠田
美津子、圖子泰、高木裕子、高橋京子、高橋彰子、高松
宏之、田中康博、谷口等、田村信哉、中条一寿、壺井和

彦、津本^{かず子}、寺井健^{富田直樹}、中島久男^{中島英}
鶴、連井昌彦^{溫品俊彦}、根川泰彦^{野村修平}、乃村千
鶴、藤原彰美^{眞崎牧子}、日詰雄弘^{平野佐代子}、藤澤
孝男^{藤原彰美}、眞崎牧子^{日詰雄弘}、松井英紀夫^{眞部}
剛太郎^{久谷幸彦}、三谷哲夫^{宮沢康}、室笠豐子^{森啓}
子^{山内眞弓}、山本眞也^{脇谷勇夫}、秋山寿行^{岩澤和}
夫、菱井利祐^{松岡省三}、安田元
昭四七 淡河美智子^{天野徹}、井口義也^{池田恵子}、猪
崎弥生^{一村公典}、稲毛和子^{井上浩一}、今岡扶彰^上
枝正人^{上枝百合子}、上原昭子^{上春育子}、大角芳史
太田康子^{岡弘文}、岡範全^{岡英憲}、岡内利文^{岡部玉}
恵、岡本吉良^{香川典子}、梶野雅義^{片山美代子}、龜山
隆、野崎恵子^{羽柴敬二}、橋本潤^{福田卓郎}、福家智子
藤川宏樹^{本家陽子}、本田章二^{間島賢治}、松岡久美子
松岡知子^{松山哲也}、丸山徹^{三浦誠}、溝口重治^{溝淵}
茂樹^{三谷啓子}、三野朱美^{宮武茂典}、望月理子^{湯山}
陽子^{和田勝}、岡田育子^{楠木寿嗣}、土居順行^{東原正}
明^{三野容志郎}、湯山芳夫^{三谷君代}、西内和子
昭四八 秋山有光子^{芥田敬三}、阿部知代^{井口進午}
石田純子^{泉尚好}、稲垣浩^{稲田幸三}、谷瀬京子^{上田}
倫^{上原邦昭}、上村和夫^{岡輝人}、岡内清弘^{小国正明}
織田幹子^{柏原一彦}、加藤英輔^{川北智司}、川窪洋子
川下讓二^{北浜卓}、帰來雅基^{倉敷ツヤ子}、黒川知文
小石泰子^{香西一憲}、香西良子^{小西二郎}、酒井穰^{佐々}
木宏起^{佐竹一郎}、里見昌信^{寒川晃顕}、四宮博人^白
石宏志^{杉山雅春}、十河政史^{詫間美千代}、竹井由美子
土原良治^{多胡一美}、多田泰三^{谷澤昭彦}、寺嶋吉保
土居義治^{仲西さち子}、中山緑^{西山正寛}、沼本篤男
林義隆^{久本吉亮}、櫃本泰雄^{藤井敏孝}、藤井美栄子
藤枝好^{藤田邦夫}、藤本敬子^{古市哲也}、堀祥一^{松本}
浩史^{丸谷照代}、水杉好子^{美馬祐一}、宮本幸治^{宮本}
吉朗^{宮本陽子}、宮脇誠^{森秋文}、山地芳和^{横山美登}
里^{渡辺雅子}、稲井秀次^{小野山裕彦}、川原一芳^{十河}
憲夫^{富永信彦}、藤本美智子^{松本孝子}、真井邦晃
昭四九 浅野民枝^{安澤千代}、伊賀和之^{池田和真}
田謙作^{浅野京子}、岩瀬伸裕^{上野忠昭}、内田徹^{上井}
邦彦^{大豊由子}、大嶋匡博^{大西値恵子}、岡隆彦^{小川}
哲郎^{小比賀吉男}、加藤昭彦^{川井亮二}、木内照朗^北
村篤孝^{久保睦子}、佐々木順代^{佐瀬洋一郎}、鈴江ひと
み^{高桑名保美}、高山もと^{武田智博}、武田英照^{田島}
明子^{谷本一成}、土居英之^{土居邦壽}、長尾忠司^{中島}

延淑、中島玲子、西原義和、蓮井善規、林惠、平田芳麿、福田安伸、遠見千香、本川一善、松島泰、松延秀一、松本淳子、宮井淑也、三好和幸、三好久美子、山下誠志、中条良則

昭五 朝原周一、穴吹善範、有賀秀治、池田育嗣、池田明子、泉合正紀、泉谷早苗、井上康、植村康正、大内典子、大角京子、大西葉子、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、尾路豐暢、垣見知英、岸本直子、木下滿代、藏本健夫、桑田敬子、河野美智子、兒嶋康博、小林巧、近藤延二、佐藤暢、柴田節、修理伸一、菅原香代子、鈴木聡、隅田啓、高澤正子、武田伸二、田所裕幸、田中孝一、徳広信也、豐澤佳弘、名尾和広、長井啓介、永留三恵子、中山易典、野村昌弘、萩本豊、萩本佳美、萩森康史、橋本香代子、花房長広、浜崎泰子、林涼子、櫃本令子、平井一也、淵崎正弘、逸見美千代、松田圭司、真鍋康二、見市昇、三谷勝明、南埜希代子、三宅明德、三好智次、元山賢治、山村雅彦、山本徳洋、横井智、六條博幸、和田孝子、和田邦子、荒井俊夫、中条博子、板東靖人、水野康徳

昭五 一 伊賀弘起、今村哲夫、植松慶生、右川誠一郎、大喜多俊彦、大西泰史、大西ゆかり、大林實溫、岡悦子、川原史、菊池和也、北谷智志、楠瀬昌作、熊井智幸、桑和子、桑嶋正寛、坂田貴之、櫻又浩、佐藤涼介、杉山洋子、鈴木誠祐、高崎真治、高橋洋子、田中佳利、谷川修一、富田弘明、中井敏博、中野英二、西岡牧子、西村明子、榎中玲子、平尾直子、平野裕子、福島敦子、福田陽一、福家昭彦、細谷芳久、溝淵洋民、三橋早苗、宮地岳彦、森和代、山口朝美、山田徹、山中卓、山本博司、利藤房男、渡邊晋一、岡見吉規、橋本映美、丸浦世造

昭五 二 阿川昌仁、天野盛資、綾田典子、池田栄作、坂司、石川高英、市木研、井上耕一、入倉尚吾、岩井孝子、植松健、大島由加子、大塚康正、大森明子、岡秀樹、岡史朗、小河恵朗、小瀬木滋、龜山祥子、神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、塩見勝彦、神野仁志、新名孝司、鈴木穰、山田敬之、泉保香澄、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、武川惠子、多胡光代、富田久美子、永峰伸一、西山淳一、畑山涼子、濱川喜巨、林充代、原内大作、藤澤一郎、北條ひとみ、米谷隆雄、松田欣未子、眞鍋裕司、三木真司、三木武司、三義義之、溝内正康、宮崎正、宮武礼子、宮脇誠、三好正幸、森康代、山崎契、山田光一、和木茂雄、和田晃尚、木村吉宏、五嶋孝博、丸吉洋子

昭五 三 栗井一樹、石原玲子、今川敬子、梅津裕美、大塚神、大畑善彦、大林照史、大林公一、北山明彦、業太規根子、清谷守之、日下卓則、小佐古博史、小谷景子、小山宏記、酒井規夫、佐々木梓二、佐々木一乗、佐藤良二、篠原良平、菅井一晴、鈴木敬二、鈴木佳代子、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、田岡英明、高島寛之、高橋英二、竹内啓子、土居邦弘、徳田桂一、中井達郎、灘波

博司、沼原利彦、馬場正子、播磨雅之、広瀬友彦、藤本邦人、藤本幹子、麗奈紀、古市昌巳、松岡貴之、松下節郎、松野和彦、松原幸子、丸尾紀昭、森泰藏、安田伊知郎、山口弘信、山下寛子、山本敦之、横山徹、吉田守秀、渡辺裕之、池田義、関元直登、片桐泰子

昭五四 青柳佳枝、浅蔭典男、穴吹久仁、安部忠明、網谷幸久、新井ゆかり、石井浩之、石谷誠、植松紀子、内海正俊、大倉朗人、大原昌樹、押野雅史、樫原昌和、片山安都子、勝九千晶、亀井智子、川口清弘、岸本貴夫、木村重之、久保晋、熊澤彰彦、後藤圭貴、佐々木悟、藤哲也、塩田玲子、島津豊安、庄村敦子、新開利津子、助吉彦、須田邦男、砂山豊安、瀬尾崇、関谷雅之、十河信二、多賀美、高岸浩子、高崎智子、高橋雅直、高橋佐知子、竹中千鶴、多田栄三、垂水浩幸、中條昂子、津野和幸、豊澤徳子、長尾正樹、長尾誠、中西良典、西村佳子、濱田法男、藤澤明彦、藤澤佳子、藤澤伸子、細井惠美子、堀内政信、堀内尚子、榎野浩司、松田秀司、松延健一、の場陽子、真鍋英男、水澤智子、宮本浩美、山本一幸、守家裕子、森山睦子、山口裕視、山下昌宏、森川一幸、吉村恵美、吉本睦、渡辺稔、平尾宏

昭五五 安宅比呂美、池田豊人、池田康彦、石濱英暢、植松浩美、楠瀬文生、桑島洋子、香西新五、香西卓、小柳和代、佐長功、品部浩司、杉ノ内謙三、砂山博子、高崎恭子、多田佳代、太山尊弘、出口一志、中尾都、中西西彦、徳彦、永田美保子、能祖一裕、橋本三起子、秦敏博、東原寛二、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤本悦子、細川典安、堀重美、松岡洋一、松本聡司、松野慎介、松原敬典、真鍋千恵、萬好都美恵、光岡美智代、三宅順子、山崎直樹、山田大介、山地茂之、吉田史枝

昭五六 赤壁圭一郎、秋山賢次、池内久徳、石丸伊知郎、伊藤環、岩井京子、植松浩美、内田雅仁、太田理、岡本さゆり、川口美穂、川染浩幸、川田英樹、喜多真登美、榊橋明彦、黒川美、合田光宏、小西英登、小早川龍司、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤友治、佐藤今日子、清水善明、下津新吾、田中裕、西村仁則、平野希代子、藤田祐、藤本拓資、細井智代、三浦治、水本恵美子、三船司郎、三宅伸吾、八十八大輔、山本くみ江、山本麻有里、吉廣秀範、渡邊一弘、渡邊智子、渡邊浩一郎

昭五七 石濱琢史、石濱美子、伊藤菜穂子、井本康裕、岩井孝之、上野佑都美、大内山基明、大西久宣、大林智彦、岡内眞一、門脇植人、河野哲哉、国土真也、小島謙治、佐藤いずみ、多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、鳥居研志、永峰清美、西村直子、馬場博史、治多伸介、藤田由美子、松本寿、松本泰則、溝内ゆかり、六車直樹、森田士朗、山崎裕子、吉井敏浩、淀谷圭三郎、英豆

昭五八 荒川裕佳子、荒本重雄、大西弘倫、小野山千津、加藤安一郎、狩野直子、川井裕基、河西邦治、木村建彦、小竹京子、斎藤龍一、佐伯祐司、三枝泰生、佐々和美、

佐藤扶美子、佐藤美里、佐藤久美子、佐藤早苗、三田英紀、塩田等、鈴木明子、十河昭宏、十河聖司、高崎義久、多田俊昭、谷崎美穂、樽合美香、濱田徳郎、藤田哲由、藤田良太郎、高崎美穂子、町田聰、三沢篤志、溝内哲也、三谷英信、三橋理恵子、森真理、守谷牧子、八木裕史、山本幸則、山本雅子、吉岡義人、能祖文子

昭五九 井川一裕、池田知子、市原典子、稲毛幸一、稲田耕一、植松繁、植村友香子、大西委子、小川正人、金谷千絵、金子洋子、兼森三恵、河津葉子、北堀礼子、児玉敬次、塩田直子、白石哲也、新上洋子、新名桂子、高橋祥子、中筋功雄、中矢和也、新岡良一、長谷川訓弘、平尾幹子、前田八州彦、三木由美子、村和巳、山田明広、山本真裕美、横田由香、鈴木秀典、長谷川富美子

昭六〇 糸川美穂子、植村圭二、大西研至、尾崎努、香川礼香、加藤琢二、川端瑞穂、北村英司、葉天恵美子、滝口信、多田義孝、田辺早苗、中田智博、西尾徹、沼原紀子、細川典子、松原淳、松本尋、三木重昌、森総子、山口真弘、吉田年秀、安戶久泰、安西トミ子

昭六一 石川りか、大西晴子、小比賀聰、加地美智子、葛西正臣、上原靖典、鴨居真理子、神部順子、木村勇夫、舩葉典子、河野敏明、小阪昌代、小見山淳子、齋藤知子、酒井佳代、笹井文仁代、多田康臣、伊達章、田中光代、谷岡紀子、田村智子、土居良助、萩池昌信、浜恭子、林秀樹、板東真由美、平岡知子、平山勝敏、藤本千代、古川万里子、本多明雄、本多完次、本多英雄、前田主見、増井佳子、松尾明美、松本弘司、丸岡弘明、向井恵、村尾仁、八木田佳佳、和田朝子、和友隆、高木タカ子

昭六二 安部美佳、荒木どり、荒木隆、石田茂吉、太田陽子、岡下秀紀、落合千寿、川筋敏伸、川西茂、川西紀子、喜田香代、葛原由起、柴島利江子、香西由美子、河野仁治、真光浩司、大東寿夫、高橋昌子、辻正彦、土山佳代、土居晶子、中城久美、萩池淳子、馬場信行、福島茂樹、別宮貴仁、堀江幹彦、前谷繁、松本亜紀、松本智美、宮地克維、山本佳世子、渡辺将敬、松佐英明、元義弘

山義弘

昭六三 阿部博、安藤昌彦、飯尾美保、池田康之、石原美保、入谷誠、岩崎和子、植村崇晴、梅岡達生、小栗直生、子、川端桂子、北角敏、木下晶、葛原真由美、栗森伸也、近藤健二、近藤裕子、神忠輝、新藤正明、助川悦子、高木早智子、宝田繁基、田中卓也、玉木雄一郎、佃英樹、長尾美穂、中川裕理、中村悦子、野崎善嗣、蓮井美奈子、羽田野麻理、林和英、久枝了、別宮欣暢、増田晋一、松原寛、三崎恵奈、三谷嘉穂、宮脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香、秋山マエエ

平 元 安達郁子、安部慶吾、伊沢菜子、石丸真弓、井町仁美、入谷知世、宇野和照、大嶋功、岡本 Gustafsson、有花、小比賀基治、折目貴司、笠井幸博、笠井陽子、川口潤、目下菜也、佐々木雅張、島田康子、諏訪修司、谷々弘、谷明世、鳥養智子、中西充、中野貴子、中村雅子

橋本和之、濱崎直哉、浜崎育子、早川知子、平地到、間島聡子、松久賢一、真鍋未希、三島宏之、三好昭生、茂中浩司、森本剛、山口典子、大塚孝昌

平二 石川昌宏、入谷浩之、宇積尚登、小川淳也、小川明子、小倉智子、尾崎敬介、落合由香、片岡健太郎、上領みき、桐林孝明、楠本衣代、十河利樹、田淵昌太、田村巨、千切谷耕一郎、中瀬浩一、中山博之、藤尾陽子、増井貴人、宮下武憲、茂中芳佳、山上有紀、山下史朗、山本史郎、余喜多仁、渡邊淑子、杉田直人

平三 綾知子、伊賀彰子、井上靖志、入門美穂、上原直人、右近有花、岡本佐織、小川孝子、香川英俊、片山哲也、河田悦夫、木村彰宏、佐藤公一、菅谷布美、高尾信昌、田中育太、田中誠也、田中茂登、筒井雅彦、常谷典生、豊島彩、中田健次、西一史、濱内朱美、牧田文子、増田浩城、三木啓史、三島史子、宮脇修三、村川祐介、安田敏男、山下雅洋、山下亮、渡邊克亮、田中和昇

平四 石川おかり、伊藤祐子、岩戸真紀、大須賀礼子、大福登紀子、大森安代、岡伸一郎、小比賀賢、兼近由賀里、鎌田英紀、木太拓志、香西育代、小宮由利江、崎山美幸、神保茂雄、谷本美香、中原健一、名塚太二、藤田晋、松井久知、三笠善寛、宮下義弘、村川和也、山地貴子、横田恭子、芳重香奈、百克将

平五 新井貴博、上田香代、岡本富美子、小川英二、鎌田多紀、龜山忠秀、川井俊一、川口聡、小林聡美、高尾真司、高濱均、竹内桜、中井裕子、西村雅子、橋本恵子、福岡淳志、松田仁里、松本忍、村松大輔、森大樹、森周一、矢田千枝、山下晶子、吉川明人、川東孝俊、喜多時乃

平六 赤嶺良美、印藤加奈子、小川大輔、鎌田恵子、川西章弘、岸下礼子、小西賢亮、末澤宏哉、土田晶子、豊嶋健史、中原大道、西稚子、西原千代、長谷川高誠、濱口宏治、藤井佳奈、松浦麻矢、松本澄江、松本龍太、溝淵純子、安田仁、山下晃弘、山下正幸、吉原達也、脇屋岳史、間嶋都世

平七 麻野良太郎、阿部憲道、石川哲朗、大谷祐生、岡田里辺香、居石浩章、梶村知宏、小石正裕、合田一洋、佐々木美栄子、重成憲爾、柴田啓子、杉上景子、高木大輔、高橋利英、土居篤司、富田あかね、中筋理恵子、奈良洋司、林和彦、藤田妃佐子、藤本主司、松本由佳、溝淵和則、湊本智昭、向井麻央、森西崇、渡邊智子、市原武

平八 阿部万理、井関龍太、小川竜司、越智正枝、グレイトリイ詩子、五ノ坪佑輔、近藤巨匠、篠田陽子、神内圭吾、杉山和江、高田佑基、中井隆文、中山信博、橋田祐一郎、福家孝一、八十川明子、山路早苗、尾崎元彦、久保清子、香西悦子、十河誠、濱元ムツ子

平九 井谷久美、伊藤育世、太田裕人、大西藍、大森裕子、川畑里佳、川東芳文、木村誠、香西直子、迫田達也、下地正恵、高橋慶如、濱田康宏

平一〇 石田恭子、鎌田長明、桐田早代、久米一水、厚井久弥、小藤智史、多田崇、戸阪匡博、轟秀明、額田慶一郎、福井由美子、堀井美、堀川昌宏、向井大輔、村尾拓哉、村上功太郎、村田慶子、山口晶子、西山成子

平一一 岩部雄貴、大美光代、大美智敬、岡尚人、小笠原恵、久保太郎、厚井志郎、近藤敦夫、寒川洋次、長田絵美、長町篤、中村恵実、藤澤衛、安田哲

平一二 池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、田田貴也、岡田弘一、佐々木基、佐藤賢、杉山和歌菜、田尾誠、谷岡弘彰、常谷紗己、中川さや子、長谷川博紀、福井裕介、森田浩之、八十川豊、山本真理子

平一三 石原ゆかり、岸下定弘、久米井伸介、児山浩崇、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、日詰まいこ、福田香代子、三木雅登、向井健二郎、八尾祉顕、淀谷光子、秋山宗徳、六車将大

平一四 池内陽一朗、伊藤光広、伊藤謹民、岡田卓巳、河本和美、佐々木崇徳、神野敬祐、高橋彩子、千葉一孝、中山且、藤澤純平、森正憲、有原増美

平一五 尾崎昂平、菅原佑治、木村慧、厚井依子、多田彩乃、田村祐一、田村勇典、富田諒太郎、原田芳宏、樋口篤、松浦毅士、森田康之、横井大典、横谷慶子

平一六 赤澤和之、秋本有美、阿部明奈、入船利彦、葛西優、佐々木和起、高橋航大、辻直輝、富田昌平、中辻早希子、新枝麻衣子、坂本信之介、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂本真、平井アヤ子

平一七 安藤拓哉、尾島三千代、桂嘉宏、木村圭一、佐藤雅之、佐藤功治、柴田郁、田村哲哉、徳田和人、長谷川博之、福井雅一、藤川皓太、堀川知紀、松岡加奈子、溝淵千晴、宮本崇平、村尾圭介、山下修平、池内一治

平一八 荒川美奈、伊賀万希子、岩崎竜也、清田沙織、久保友次郎、小林俊博、笹島正豊、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、中川佳洋、中山由美、西山由理花、樋口睦子、堀本卓弥、元山美希、森裕昭、若山秀樹

平一九 井阪雅仁、井上宏亮、植松慎一郎、大塚裕太郎、岡本裕子、絹笠沙耶香、佐古絢香、佐々木直起、立松緑、中条匡臣、富田彩、永峰優一、野村美佐子、馬場翔太郎、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、松本美都、山口智也

平二〇 朝倉健太、岡直樹、川原一晃、香西真道、小早川達彦、佐藤万里奈、佐藤悠奈、関元由紀、田川良和、谷美里、西牧正博、野口佑太、吉田勇人、和田学政、尾崎友合子

平二一 青木咲貴、青木仁美、安岐智晴、池西大起、門田浩史、久詰修平、田岡伸崇、多田晋、津村和輝、中川裕貴、西部志恵、馬場真理子、宮本瑠子、元山佳奈、山下泰啓

平二二 青木建樹、小原和花、鎌倉瑞基、木村智美、後藤由衣、櫻又由伽子、佐藤哲人、塩入愛美、杉山貴美、谷勇輝、戸嶋圭、八村良祐、廣瀬友基、藤沢眞代、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、森光太郎、山田佳明、池添治

松川万須美

平二三 犬塚倫子、植田貴久、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、川西真明、楠瀬智己、香西健太郎、佐藤伊純、長谷川力、藤井麻里子、堀川恭佑、松岡美玖、山野上舞、吉田沙織、渡邊一朗、渡邊修也

平二四 伊賀健人、井手うらら、岩間弓奈、河田祐太郎、佐藤夏実、関伯華、辻曉里、蓮井信吾、坂東秀人、藤本みち、細谷泰祐、堀光毅、松下恵介、南明音、山崎浩輝、吉田満利恵

平二五 青木耀大、石濱佐和子、伊藤まどか、河本和憲、小出英南子、小西明和、谷村一成、廣瀬元基、前田喬広、森千紘、保田祐輝、山田富之、山野上実希、松本幸代、溝淵武範

平二六 相場佑利、安藤さおり、石丸弘之、宇佐見天慧、初慶太、喜田壮士郎、北山由紀乃、河野雅子、角田祥次郎、徳武直、三原大典、美馬章宏、三宅遥、本山絹、山本怜兒

平二七 大谷勇樹、齋藤拓海、佐藤聡太、谷和樹、飛梅里佳、原田智行、藤田真由、榎木優美香、藤澤良太、吉野千秋

平二八 石濱加彌子、植松希望、太巻侑香、朝真澄、大西智、岡崎律道、川瀬季広、久保一毅、河野詢平、坂本亮、高橋聡、野口愛心、松岡秀悟、森井嘉穂、吉峰広貴、渡邊蘭、中川剛、真鍋広子

平二九 麻田恭大、安藤桃子、石丸真子、植田将暉、香川雄右斗、葛西大淨、嶋田佳奈、川西真子、川西祐毅、喜田よつ葉、木下純一、葛原寛子、工藤佑馬、久米瑞樹、佐藤健斗、佐藤光起、十川優輝、苑田千央、田中紗弥加、出口和希、林利穂、東原有、三宅沙弥、柳澤智心、山下佳乃、山本黎、吉田夏穂、渡辺由洋

平三〇 浅原悠希、芦田一真、石川凌大、岩出大輔、大内一慶、岡内紀翔、高木直哉、瀧川圭太、竹内まり子、多田翔哉、玉木献人、太山賀珠人、十枝航太、鳥養武弘、中西三春、中村仁、平尾悠里子、星野佑介、松井広佳、三澤一織、六車凌、森雛子、山崎裕里加、山下卓真、渡邊沙羽、權日豊美、牧井幸一

平三一 青野光起、大野裕暉、千葉勇渡、坪川龍聖、土居孝高、梨野勝己、蓮井祐樹、前谷颯太、増田麻夢、松浦彪、松野なな、三宅奈都、吉田美穂、池内善美、余島彩華、稲月新

令二 植松明香、大西晴日、小川陽生、門田光輝、兼光佑輔、川田大登、川端敦仁、河野華子、志原那歩、田辺歩夢、濱龍正、星野花奈、細井心平、松岡太一、松澤巧貴、水野琳太郎、美馬由布子、藪内結海、山本陽基、世依駿、岩橋静公、緒方憂子

令三 石川裕大、石原志朗、植田詩穂、大社裕典、小原悠華、河北彩希、木村彰人、河野純平、佐藤浩太郎、新川武尊、須藤真緒、関谷林蔵、坪川駿祐、中西明、西原なすな、藤原侑生、星川ひかる、真鍋伊吹、三谷知蔵、

宮武桜子、六車匠史、山北七夕、山口明理、寄田祐真、渡邊佟

令四 牛田康太、大西優佑、岡美晴、岡本千奈、加藤天晴、川西未菜、菊澤美咲、岸下龍乙、河野恩利、齋藤凱地、酒井菜摘、田中美海、寺尾咲、土居尚志、富田さくら、西尾仁徳、西山雅春、原寛和、平岡未羽、平野沙也加、増田峻吾、松浦鳳、真鍋舞、六車圭、本山律、山口翔真、米本咲貴

令五 一原優奈、岩瀬優基、三枝春音、三枝諒太、櫻井美空、高木叶華、濱雪乃、平井愛美、福家穂高、藤尾茜風、堀竜輝、丸山莉紗、溝淵莉紗、渡邊千晶

令六 石川昂輝、猪熊咲良、今面由樹、入門蒼、入門美緒、宇佐美慶乃、大熊李沙、大村洋翔、岡内琴美、岡村将大、岡本昂也、加藤愛子、河田結衣、菊池春香、岸上千由、北村優名、工藤寧々、國廣悠希、河野隼利、志原大介、諏訪直太郎、高木愛理、竹本康佑、田中沙波、津嶋悠里、津山海志、中川拓海、原田耀平、三好重佑、米本咲和

納入者不明 一名(二〇二四年七月二〇日銀行振込)

令和四年度会費納入者 (令和五年五月一日以降入金) 高 高

昭二九 池内章

令和五年度会費納入者 (令和六年四月一日以降入金) 高 高

昭二八 十河弘

昭二九 池内章

昭四〇 湯藤隆司

昭四九 遠見千香

口座自動振替 お申込みにあたって

玉翠会員の皆様の指定預金口座から、毎年自動で会費がお振替出来ます。
窓口やコンビニに出向くことなく、また、お振込忘れも防ぐことができます。

振替日 9月27日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）

お申込みまでの流れ

STEP 1 同封の「預金口座振替依頼書」に黒のボールペンで、太枠内をきれいに記入、
ご捺印します。



STEP 2 「預金口座振替依頼書」を高松高等学校玉翠会事務局までご送付ください。

【あて先】 〒760-0017
香川県高松市番町三丁目1番1号
香川県立高松高等学校玉翠会事務局 宛

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 押印は金融機関届出印をお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合がございますので、ご注意ください。
2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
3. お引落し額をご記入ください。（会費は一口2,000円からとなっております）
4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保管ください。
5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日（事務局着）までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワイドネット」（ゆうちょ銀行）または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。

